

健康づくり・食育関連事業一覧

令和4年度健康づくり及び食育の推進に関する取組状況について

1. 調査目的

健康づくり及び食育の推進に関する取組状況について把握するため。

2. 調査対象

健康づくり及び食育事業を実施している関係各課

3. 調査項目について

① 数値評価

数値評価の入力項目 ※数値で評価できる指標がある場合入力	
指標（単位）	数値で評価できる指標とその単位を設定。 複数の評価指標がある場合は、最も重要なもの。
目標	指標について、令和4年度当初の目標値
実績	指標について、令和4年度事業終了後の実績値
達成率	実績値÷目標値（自動入力）
評価（a）	達成率に応じた評価（自動入力） 【50%未満=1, 50%以上70%未満=2, 70%以上=3】

② 記述評価

記述評価の入力項目 ※必ず入力	
内容	数値で表せない部分の評価
評価（b）	【できなかった=1, できているものの十分ではない=2, できている=3】

4. 調査結果まとめ

(1) 健康づくり関連事業

① 総合

総合(健康づくり)			全体	%	妊娠		乳幼		少年		青年		壮前		壮後		高齢	
数値評価	0	指標なし	164	71%	6	60%	21	81%	24	73%	18	67%	29	69%	27	68%	39	75%
	1	50%未満	18	8%	1	10%	1	4%	2	6%	2	7%	4	10%	4	10%	4	8%
	2	50%以上70%未満	8	4%	0	0%	0	0%	1	3%	1	4%	2	5%	2	5%	2	4%
	3	70%以上	40	17%	3	30%	4	15%	6	18%	6	22%	7	17%	7	18%	7	14%
	計		230	100%	10	100%	26	100%	33	100%	27	100%	42	100%	40	100%	52	100%
記述評価	1	できなかった	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	2	できているものの十分ではない	123	54%	2	20%	4	15%	16	49%	12	44%	24	57%	26	65%	39	75%
	3	できている	107	47%	8	80%	22	85%	17	52%	15	56%	18	43%	14	35%	13	25%
	計		230	100%	10	100%	26	100%	33	100%	27	100%	42	100%	40	100%	52	100%

- ・事業は全ライフステージで実施されている。
- ・記述評価では、妊娠・乳幼児期にて「できている」の割合が高く、壮年前期以降は「できているものの十分でない」の割合が高い。

② 項目別

栄養			全体	%	妊娠		乳幼		少年		青年		壮前		壮後		高齢	
記述評価	1	できなかった	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	2	できているものの十分ではない	21	31%	1	20%	1	7%	2	22%	2	22%	3	30%	5	56%	7	70%
	3	できている	46	69%	4	80%	14	93%	7	78%	7	78%	7	70%	4	44%	3	30%
	計		67	100%	5	100%	15	100%	9	100%	9	100%	10	100%	9	100%	10	100%
運動・身体活動			全体	%	妊娠		乳幼		少年		青年		壮前		壮後		高齢	
記述評価	1	できなかった	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	2	できているものの十分ではない	57	54%	2	29%	3	20%	7	47%	8	53%	8	53%	10	67%	19	83%
	3	できている	48	46%	5	71%	12	80%	8	53%	7	47%	7	47%	5	33%	4	17%
	計		105	100%	7	100%	15	100%	15	100%	15	100%	15	100%	15	100%	23	100%
休養・こころの健康			全体	%	妊娠		乳幼		少年		青年		壮前		壮後		高齢	
記述評価	1	できなかった	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	2	できているものの十分ではない	34	36%	1	25%	2	14%	7	64%	3	23%	5	28%	7	41%	9	50%
	3	できている	61	64%	3	75%	12	86%	4	36%	10	77%	13	72%	10	59%	9	50%
	計		95	100%	4	100%	14	100%	11	100%	13	100%	18	100%	17	100%	18	100%
歯の健康			全体	%	妊娠		乳幼		少年		青年		壮前		壮後		高齢	
記述評価	1	できなかった	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	2	できているものの十分ではない	20	49%	1	20%	2	25%	2	40%	2	50%	3	60%	4	67%	6	75%
	3	できている	21	51%	4	80%	6	75%	3	60%	2	50%	2	40%	2	33%	2	25%
	計		41	100%	5	100%	8	100%	5	100%	4	100%	5	100%	6	100%	8	100%
喫煙			全体	%	妊娠		乳幼		少年		青年		壮前		壮後		高齢	
記述評価	1	できなかった	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	2	できているものの十分ではない	8	33%	1	33%	1	20%	1	33%	1	25%	1	25%	2	67%	1	50%
	3	できている	16	67%	2	67%	4	80%	2	67%	3	75%	3	75%	1	33%	1	50%
	計		24	100%	3	100%	5	100%	3	100%	4	100%	4	100%	3	100%	2	100%
飲酒			全体	%	妊娠		乳幼		少年		青年		壮前		壮後		高齢	
記述評価	1	できなかった	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	2	できているものの十分ではない	8	33%	1	33%	1	20%	1	33%	1	25%	1	25%	2	67%	1	50%
	3	できている	16	67%	2	67%	4	80%	2	67%	3	75%	3	75%	1	33%	1	50%
	計		24	100%	3	100%	5	100%	3	100%	4	100%	4	100%	3	100%	2	100%
健康行動			全体	%	妊娠		乳幼		少年		青年		壮前		壮後		高齢	
記述評価	1	できなかった	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	2	できているものの十分ではない	68	56%	1	14%	2	14%	4	31%	5	39%	16	67%	17	74%	23	82%
	3	できている	54	44%	6	86%	12	86%	9	69%	8	62%	8	33%	6	26%	5	18%
	計		122	100%	7	100%	14	100%	13	100%	13	100%	24	100%	23	100%	28	100%

- ・ **栄養**：全ライフステージで事業が実施されているものの、壮年後期以降は「できているものの十分でない」の割合が高くなっている。
- ・ **休養・こころの健康**：少年期、高齢期にて「できているものの十分でない」の割合が高い。
- ・ **歯の健康**：乳幼児期、高齢期で事業数が多くなっている。青年期以降で「できているものの十分でない」の割合が高くなっている。
- ・ **喫煙・飲酒**：事業数が少ないが、全ライフステージで実施している。
- ・ **健康行動**：事業数は最も多く、全ライフステージで実施できている。壮年前期以降で「できているものの十分でない」の割合が高くなっている。

(2) 食育関連事業

① 総合

総合(食育)		全体	%	妊娠	乳幼	少年	青年	壮前	壮後	高齢							
数値評価	0 指標なし	135	80%	9	75%	20	87%	25	76%	25	83%	25	83%	16	76%	15	75%
	1 50%未満	6	4%	0	0%	0	0%	2	6%	1	3%	1	3%	1	5%	1	5%
	2 50%以上70%未満	6	4%	0	0%	0	0%	2	6%	1	3%	1	3%	1	5%	1	5%
	3 70%以上	22	13%	3	25%	3	13%	4	12%	3	10%	3	10%	3	14%	3	15%
	計	169	100%	12	100%	23	100%	33	100%	30	100%	30	100%	21	100%	20	100%
記述評価	1 できなかった	24	14%	1	8%	2	9%	5	15%	5	17%	5	17%	3	14%	3	15%
	2 できているものの十分ではない	18	11%	1	8%	3	13%	3	9%	3	10%	3	10%	3	14%	2	10%
	3 できている	127	75%	10	83%	18	78%	25	76%	22	73%	22	73%	15	71%	15	75%
	計	169	100%	12	100%	23	100%	33	100%	30	100%	30	100%	21	100%	20	100%

- ・ 全ライフステージで実施されている。
- ・ 記述評価では、全ライフステージで「できている」の割合が高い。

目次

健康づくり事業一覧	1
総務・市民協働部.....	1
産業観光部.....	2
人権環境部.....	4
福祉こども部.....	5
健康長寿部.....	9
都市整備部.....	14
教育委員会.....	15
食育関連事業一覧	18
新規事業.....	18
市長公室.....	19
総務・市民協働部.....	20
人権環境部.....	21
産業観光部.....	23
福祉こども部.....	24
健康長寿部.....	26
教育委員会.....	28

健康づくり関連事業一覧

総務・市民協働部(1/17)

◎関連分野

栄…栄養・食生活、運…運動・身体活動、休…休養・こころの健康、歯…歯の健康、煙…喫煙、酒…飲酒、健…健康行動

◎ライフステージ

妊娠…妊娠出産期(妊婦)、乳幼…乳幼児期(0～5歳)、少年…少年期(6～15歳)、青年…青年期(16～29歳)、壮前…壮年前期(30～44歳)、壮後…壮年後期(45～64歳)、高齢…高齢期(65歳以上)

No.	関連分野				ライフステージ				事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性														
	栄	運	休	歯	煙	酒	健	妊								乳	少	青	壮	高	指標(単位)	目標		実績	達成率(自働入力)	評価(a)(自働入力)	内容	評価(b)									
1			1						1	1	1	1												ふれあいセンターは、市民のうろおいある地域社会づくりに寄与することを目的とした施設で、貸館を通して健康づくりを含む様々な市民活動の場を提供する。	総務・市民協働部	市民協働推進課	利用件数：931件 利用人数：7,849人 4/25～6/20、8/20～9/30、菟道ふれあいセンター使用休止	利用件数：1,180件 利用人数：9,725人	実施						菟道ふれあいセンターでは、芝生エリア・クローバー畑の開放と貸館業務を行った。また、子育てにやさしいまちプロジェクトの委託事業において、ワークショップを実施し、子どもをはじめとした、地域の方が交流する場を提供した。	3	ふれあいセンターとしては廃止することとしているが、菟道ふれあいセンターは、当面の間開館を継続する。施設の今後については、令和5年度策定する、中宇治地域の市民協働推進拠点基本ビジョンにより、検討していく。
2			1	1					1	1	1	1												コミュニティセンターは、市民相互の交流と地域活動の振興に資するとともに、市民文化の向上及び福祉の増進に寄与することを目的とした施設で、貸館を通して健康づくりを含む様々な市民活動の場を提供する。	総務・市民協働部	市民協働推進課	利用件数：8,357件 利用人数：74,995人 4/25～6/20、8/20～9/30、貸館休止(新型コロナウイルス感染症対策)	利用件数：11,453件 利用人数：112,513人 榎島コミセンのみ、9/17～10/30貸館休止(下水道接続工事のため)	実施						市内4か所に設置された地域活動の拠点施設として貸館業務を行い、市民相互の交流と地域活動の振興、福祉の増進、市民文化の向上を図った。	3	若年層の利用が少ない。

健康づくり関連事業一覧

産業観光部(2/17)

◎関連分野

栄…栄養・食生活、運…運動・身体活動、休…休養・こころの健康、歯…歯の健康、煙…喫煙、酒…飲酒、健…健康行動

◎ライフステージ

妊娠…妊娠出産期(妊婦)、乳幼…乳幼児期(0～5歳)、少年…少年期(6～15歳)、青年…青年期(16～29歳)、壮前…壮前期(30～44歳)、壮後…壮後期(45～64歳)、高齢…高齢期(65歳以上)

No.	関連分野										ライフステージ				事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性			
	栄	運	休	歯	煙	酒	健	妊	乳幼	少年	青年	壮前	壮後	高齢								指標(単位)	目標	実績	達成率(自動入力)	評価(a)(自動入力)	内容	評価(b)				
1		1	1														合唱団活動事業	「宇治市少年少女合唱団」活動を通じて、情操豊かな子どもを育成するとともに音楽文化活動の推進を図る。	産業観光部	文化スポーツ課	団員数：30名	団員数 27人	実施予定	団員数(人)	50	27	54%	2	合唱団活動に取り組むことにより、小・中学生の文化意識及び協調性などを育てることができた。	2	現在小学2年生から中学3年生まで在籍しているが、中学生になるとクラブや受験との両立が難しく、休団、退団する場合がある。また、団員数が減少しているため、今後の団員確保が課題。	
2			1														市民文化芸術祭開催事業	市民文化活動の振興を図るため、市民参加による文化芸術祭を開催する。	産業観光部	文化スポーツ課	市民文化芸術祭は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。 市民絵画展、市民写真展、市民いけばな展(同参加事業)は開催。 参加団体数：236組 来場者総数：1362人	【市民文化芸術祭】 参加者数：659人 来場者数：3450人 同参加事業(市民絵画展、市民写真展、市民いけばな展、フェニックスコンサート) 参加者総数：368人 来場者総数：1542人	実施予定	来場者数(人)	7,500	3,450	46%	1	新型コロナウイルス感染症の影響の中、開催手法を工夫して3年振りに開催が出来たが、各団体の活動者が減少し、参加者(出演者・出演者)数が減少した。それに伴い、入場者数も減少してきている。	2	参加者の高齢化により、出演者、出演者が減少している。事業内容や広報等を再検討しなければならない。また、参加事業を含めた市民文化芸術祭全体の在り方について、根本的な検討が必要である。	
3			1														スポーツ教室開催事業	市民にスポーツの場を提供し、スポーツ・レクリエーションの実践を通じて市民相互の交流を促進し、健康・体力づくりを図るため、各種のスポーツ教室やニュースポーツひろばを開催する。	産業観光部	文化スポーツ課	【ニュースポーツひろば】 市主催357人 体振主催584人 ※新型コロナウイルス感染症の影響で一部中止し、市主催分全31回の2回を実施。 【教室】 ニュースポーツひろばに統合して実施。	【ニュースポーツひろば】 市主催 707人 体振主催 913人 ※市主催分全31回実施 【教室】 ニュースポーツひろばに統合して実施。	実施予定							新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、種目制限、人数制限等の対策を講じて実施し、市民のスポーツ振興に貢献できた。	2	市民が自主的かつ積極的にスポーツに親しめるよう、ニーズを見極めながら引き続き、定期的に開催するとともに、効果的な広報を検討する。
4			1														スポーツ大会開催事業	スポーツ・レクリエーション活動による市民相互の交流を促進し、健康の保持と体力の向上及び競技力の向上を図るため各種のスポーツ大会を開催する。	産業観光部	文化スポーツ課	・スポーツまつり ※新型コロナウイルス感染症の影響で中止 ・市民駅伝132人 ・ファミリーバドミントン大会52人 市民総体2,994人 地域生涯スポーツ振興事業1,210人	・スポーツまつり ※雨天により一部中止(スケート体験教室90人参加) ・市民駅伝144人 ・ファミリーバドミントン大会48人 ・市民総体7,329人 ・2022Uji子どもスポーツフェスタ延べ1,200人参加	実施予定							新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、様々な種目を通じて参加者のスポーツ参加への意欲、競技力向上を図り、市民へのスポーツ振興に貢献できた。	2	アフターコロナの新しい生活様式における、事業実施や運用方法の確立が課題となっている。

健康づくり関連事業一覧 産業観光部(3/17)

◎関連分野

栄…栄養・食生活、運…運動・身体活動、休…休養・こころの健康、歯…歯の健康、煙…喫煙、酒…飲酒、健…健康行動

◎ライフステージ

妊娠…妊娠出産期(妊婦)、乳幼…乳幼児期(0～5歳)、少年…少年期(6～15歳)、青年…青年期(16～29歳)、壮前…壮年前期(30～44歳)、壮後…壮年後期(45～64歳)、高齢…高齢期(65歳以上)

No.	関連分野											ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性					
	栄	運	休	歯	煙	酒	健	妊	乳	幼	少	年	青	年	壮	前								壮	後	高	齢	指標(単位)	目標	実績		達成率 (自動入力)	評価(a) (自動入力)	内容	評価(b)	
5		1									1	1	1	1	1					各種大会事業	市内すべての地域において、子どもから高齢者、障害者のすべての市民に対して、豊かなスポーツ環境づくりに取り組み、生涯スポーツ社会の実現を目指す。	産業観光部	文化スポーツ課	・市長杯4,281人 ・障害者スポーツ大会 ※新型コロナウイルス感染症の影響で中止 ・宇治川マラソン大会 ※新型コロナウイルス感染症の影響で中止 ・スポーツ少年団登録者数1,310人 ・体振連32,103世帯加盟	・市長杯 6,517人 ・障害者スポーツ大会 ※新型コロナウイルス感染症の影響で中止 ・宇治川マラソン大会1,320人参加 ・スポーツ少年団登録者数 1,212人 ・体振連 31,506世帯加盟	実施予定								新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、様々な種目を通じて参加者のスポーツ参加への意欲、競技力向上を図り、市民へのスポーツ振興に貢献できた。	2	アフターコロナの新しい生活様式における、事業実施や運用方法の確立が課題となっている。
6			1						1	1	1	1	1	1	1					宇治十帖スタンプラリー	源氏物語「宇治十帖」の古跡を巡る「宇治十帖コース」を設定し、市内の史跡や宇治の自然を歩く。	産業観光部	文化スポーツ課 観光振興課	デジタルスタンプラリーを実施。 踏破者数5,586人 (内訳) デジタル 3,762人 ウォーキングマップ 1,824人	デジタルスタンプラリーを実施。 踏破者数5,480人 (内訳) デジタル 3,669人 ウォーキングマップ 1,811人	実施予定	踏破者数(人)	7,000	5,480	78%	3	賞品に地域の商店街で利用できる共通利用券を取り入れるなど地域への波及効果や事業の魅力アップを図ったが、令和3年度の踏破者数(5,586人)を下回った。参加者が多い土日祝日に雨天が多かったことが原因と考えられる。	3	「源氏物語のまち」としての宇治の魅力と、より多くの方々へPRすることを目指すため、参加者数増加に向けた事業実施方法の検討が必要。令和5年度は大河ドラマ「光る君へ」PRを含めた事業を検討している。		

健康づくり関連事業一覧

人権環境部(4/17)

◎関連分野

栄…栄養・食生活、運…運動・身体活動、休…休養・こころの健康、歯…歯の健康、煙…喫煙、酒…飲酒、健…健康行動

◎ライフステージ

妊娠…妊娠出産期（妊婦）、乳幼…乳幼児期（0～5歳）、少年…少年期（6～15歳）、青年…青年期（16～29歳）、壮前…壮前期（30～44歳）、壮後…壮後期（45～64歳）、高齢…高齢期（65歳以上）

No.	関連分野					ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性			
	栄	運	休	歯	煙	健	妊	乳	少	青								壮	高	指標(単位)	目標	実績	達成率(自動入力)	評価(a)(自動入力)		内容	評価(b)	
1			1										女性のための相談事業	<p>こころやからだの悩み、家族や職場での人間関係など、女性が抱えている様々な問題に関する相談に、女性の相談員が応じている。</p> <p>1.一般相談（面接相談・電話相談）</p> <p>2.専門相談（女性弁護士による法律相談、女性精神科医によるこころからの相談、フェミニスト・カウンセラーによるフェミニスト・カウンセリング）</p>	人権環境部	男女共同参画課	<p>1.予約のいらない電話相談 140件</p> <p>2.一般相談 137件</p> <p>3.専門相談 138件</p> <p>令和3年4月より、火～金曜日の午前中に女性問題アドバイザーによる「予約のいらない電話相談」を開始した。</p>	<p>《予約のいらない電話相談》</p> <p>火～金曜日の午前</p> <p>《一般相談》</p> <p>毎週火・木曜日、毎月第2日曜日の午後、及び第3火曜日の午前</p> <p>《専門相談》</p> <p>フェミニストカウンセラーによる「一般相談」:年9回、原則第1金曜日の午後</p> <p>こころからの相談:必要時</p>	<p>前年度と同様内容で実施（オンラインによる相談も引き続き実施）</p> <p>《予約のいらない電話相談》</p> <p>火～金曜日の午前</p> <p>《一般相談》</p> <p>毎週火・木曜日、毎月第2日曜日の午後、及び第3火曜日の午前</p> <p>《専門相談》</p> <p>フェミニストカウンセラーによる「一般相談」:年9回、原則第1金曜日の午後</p> <p>こころからの相談:必要時</p>	<p>1.予約のいらない電話相談と、</p> <p>2.一般相談の合計件数(件)</p>	290	360	124%	3	(件数内訳)	<p>1.予約のいらない電話相談 225件</p> <p>2.一般相談 135件</p> <p>3.専門相談 148件</p>	3	さらなる関係機関との連携強化に努め、迅速な対応が必要な場合に備えておく必要がある。
2			1										女性の健康支援セミナー	<p>「女性の健康週間」に合わせて、女性が生涯を通じて健康で明るく充実した日々を自立して過ごすことを支援するため、セミナーを実施する。</p>	人権環境部	男女共同参画課	<p>参加者数 32人(内、オンライン参加15人)</p>	<p>「優雅な気分、筋力アップ!チェアパズ* /エクササイズ*」/健康運動指導士、チェアパズ* /エクササイズ公認インストラクター大西 京子</p>	実施予定	<p>参加人数(人)</p>	30	30	100%	3		3	より多くの方に参加いただける事業内容とする必要がある。	
3			1										男性のための相談事業	<p>こころやからだの悩み、家族や職場での人間関係など、男性が抱えている様々な問題に関する相談に、男性相談員が応じている。(電話相談)</p>	人権環境部	男女共同参画課	<p>相談件数 37件</p>	<p>毎月第3金曜日 18:00～20:00</p>	<p>前年度と同様内容で実施</p> <p>毎月第3金曜日 18:00～20:00</p>	<p>相談件数(件)</p>	48	33	69%	2		3	男性の生きづらさなどが着目される中、男性が相談してみようと思えるような考え方がなれる講座を開催したり、男性相談のさらなる広報に努める必要がある。	
4	1												食べ盛り 広げよう ゼロの輪	<p>小学校で給食学習会、給食交流会、体験学習(野菜の栽培)等を行い、これらの授業の中で食べることの大切さを教え、子供たちが自発的に食べることにより、ごみの減量を図る。</p>	人権環境部	まち美化推進課	<p>実施なし</p>	<p>実施なし</p>	<p>実施予定なし</p>	-	-	-			2	予算化された事業ではないため、今後実施予定なし。希望される学校等があった場合には、予算要求を含め、事業化していくか検討する。		

健康づくり関連事業一覧

福祉こども部(5/17)

◎関連分野
 栄…栄養・食生活、運…運動・身体活動、休…休養・こころの健康、歯…歯の健康、煙…喫煙、酒…飲酒、健…健康行動
 ◎ライフステージ
 妊娠…妊娠出産期(妊婦)、乳幼…乳幼児期(0～5歳)、少年…少年期(6～15歳)、青年…青年期(16～29歳)、壮前…壮前期(30～44歳)、壮後…壮後期(45～64歳)、高齢…高齢期(65歳以上)

No.	関連分野										ライフステージ				事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性				
	栄	運	休	煙	酒	健	妊娠	乳幼	少年	青年	壮前	壮後	高齢	指標(単位)								目標	実績	達成率(自働入力)	評価(a)(自働入力)	内容	評価(b)						
1											1							地域子育て支援拠点事業	子育てを支援するため、子育て支援センター等において、情報提供や相談、サークル育成等を行うとともに、親子が気軽に集える広場を開設し、関係機関や団体とのネットワーク化を推進する。	福祉こども部	こども福祉課	38,362人 新型コロナウイルス感染症対策により、4月25日～6月20日、8月20日～9月30日の間、閉所(相談業務は実施)。	55,870人	継続実施							10ヶ所の拠点整備が完了して以降、過去最高の利用者数となった。	3	利用者数が増加することで個別ケースの相談等がしづらくなることのないよう、拠点の相談機能も引き続き維持していくことが必要
2			1		1						1						保育所児童健康管理事業	入所児童の健全な成長を支援するため、入所児童に対し、各種健康診断や健康教室等を実施している。又、保護者に対して、保育所参観や健康だより等を通じて、子育てや健康等の情報提供を行っている。	福祉こども部	保育支援課	内科健診 18回のべ1,667人 歯科健診 14回のべ1,673人 歯の教室 28回 手洗い教室 27回 健康だより 11回 尿検査 8回 視力検査 26回 ※新型コロナウイルスの対策を講じながら実施した。	内科健診 18回のべ1,727人 歯科健診 14回のべ1,718人 歯の教室 28回 手洗い教室 27回 健康だより 11回 尿検査 8回 視力検査 26回	内科健診 18回のべ1,727人 歯科健診 14回のべ1,718人 歯の教室 28回 手洗い教室 27回 健康だより 11回 尿検査 8回 視力検査 26回							内科健診、歯科健診、視力検査の受診率は前年度に比べ増加したが、精密検査受診率は減少、肥満の児童が増加傾向のため、保護者への啓発チラシを作成し該当者に配布。	2	健診受診率を向上させ、早期発見・早期治療につなげる。医療機関受診動向見の受診促進。保護者への普及啓発。	
3	1																保育所運営事業【食講習会・おたより】	食育推進にあたり、保育所と家庭は連携・協力をすすめる必要があり、家庭における食育の実践が広がることを目的に、食に関する支援として、保護者に対して、朝食の役割等、食に関する情報を保育所参観等の機会に講習会を実施したり、献立表や食に関する情報紙を提供する。	福祉こども部	保育支援課	14回 配布数：各940枚	14回 配布数：各890枚	14回 配布数：各890枚							計画通り、実施できた。	3	今後も継続して実施していく。	
4	1																保育所給食事業	保育所給食事業は、入所児に対して給食を通じた栄養管理のもと、食事及び食環境に関わる場をとおして、生涯にわたり、健康で質の高い生活を営む食に関わる力の育成に向け、その基礎を培うことを目的とする。	福祉こども部	保育支援課	対象者：約940人 日数：292日	対象者：約890人 日数：292日	対象者：約890人 日数：292日							計画通り、実施できた。	3	今後も継続して実施していく。	
5																	保育所地域活動事業【園庭開放etc】	各保育所での、それぞれの活動を通して、高齢者との交流、郷土文化の伝承、異年齢児との交流等の事業を実施する。園庭開放：現状の回数から増やしていくことを検討中。	福祉こども部	保育支援課	園庭開放等回数：18回 利用者：83組 ※新型コロナウイルスの影響で、回数減。	園庭開放等回数：37回 利用者：114組	園庭開放等回数：48回		48	37	77%	3		コロナ禍での事業であったものの、概ね実施できた。	3	今後も継続して実施していく。	
6	1	1	1														産後ケア事業	産後に支援を必要とする産婦及び乳児に対して、助産師等専門職員により育児の支援その他母子の健康の維持及び増進に必要な支援を行う。	福祉こども部	保健推進課	利用実人数85人 ・宿泊型 20人 ・訪問型(助産師) 30人 ・訪問型(介護福祉士) 33人 ・日帰り型 37人	利用実人数73人 ・宿泊型 13人 ・訪問型(助産師) 29人 ・訪問型(介護福祉士) 24人 ・日帰り型 42人	随時							母子健康手帳交付時から支援を必要とする人を把握して利用を促し、子育てに対する負担感や不安の軽減を図ることができている。	3	支援が必要な時に介入できるよう、妊娠期からの状況を把握する。	
7																	妊産婦健康診査事業	健全な母体と胎児の保健管理の向上を図るため、受診券を交付し、妊婦の経済的負担の軽減や、妊娠・出産に支障を及ぼす疾病の早期発見・早期治療を推進する。	福祉こども部	保健推進課	1,071人	1,008人(令和4年度から産婦健康診査事業を統合)	随時							母子健康手帳の交付と合わせて妊産婦健診の受診券を交付しており、経済的負担の軽減、妊娠・出産期における疾病の早期発見・早期治療、産後初期における母子への支援につながっている。	3	今後も継続して実施する。	

健康づくり関連事業一覧

福祉こども部(6/17)

◎関連分野

栄…栄養・食生活、運…運動・身体活動、休…休養・こころの健康、歯…歯の健康、煙…喫煙、酒…飲酒、健…健康行動

◎ライフステージ

妊娠…妊娠出産期(妊婦)、乳幼…乳幼児期(0～5歳)、少年…少年期(6～15歳)、青年…青年期(16～29歳)、壮前…壮前期(30～44歳)、壮後…壮後期(45～64歳)、高齢…高齢期(65歳以上)

No.	関連分野										ライフステージ				事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性
	栄	運	休	歯	煙	酒	健	妊	乳	幼	少	年	青	年								壯	前	壯	後	高	齢	指	
8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	妊	乳	幼	少 <td>妊娠・産後支援事業</td> <td> 妊娠期から子育てまで、切れ目ないサポートを行い、不安や困りごと等の軽減・孤立感の解消を図る。 ①妊婦訪問 ②パパママ教室 a) プレママひろば b) おいしい! たのしい! クッキング! c) これで安心♪赤ちゃんのお世話体験 d) パパ出番ですよ～沐浴にチャレンジ～ ③産後のママのための育児相談会 ④ママのためのおはなし会 ⑤乳幼児相談 </td> <td>福祉こども部</td> <td>保健推進課</td> <td>①55人 ②a) ストレッチでボディケア 年間12回49人 9回36人 b) プレママの食事年間6回26人 ※調理実習はせずレシピを紹介 c) 年間5回126人 d) 年間8回175人 ③年間9回60人 ④年間9回232人 ⑤年間29回618人</td> <td>①随時 ②a) ストレッチでボディケア 年間12回 b) プレママの食事年間11回57人 ※調理実習はせずレシピを紹介 c) 年間7回180人 d) 年間12回245人 ③年間12回70人 ④年間11回253人 ⑤年間41回815人</td> <td>①随時 ②a) ストレッチでボディケア 年間12回 b) プレママの食事年間11回 ※調理実習はせずレシピを紹介 c) 年間7回 d) 年間12回 ③年間12回 ④年間11回 ⑤年間43回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>母子健康手帳交付時から支援を必要とする人を把握して利用を促し、子育てに対する負担感や不安の軽減を図ることができている。</td> <td>3</td> <td>・妊娠期から子育て期まで、支援が必要な方へのフォロー体制の確立が必要 ・新型コロナウイルス感染症により実施方法や定員を制限して実施しており、キャンセル待ちが発生する教室がある。定員や事業内容の検討が必要である。</td>	妊娠・産後支援事業	妊娠期から子育てまで、切れ目ないサポートを行い、不安や困りごと等の軽減・孤立感の解消を図る。 ①妊婦訪問 ②パパママ教室 a) プレママひろば b) おいしい! たのしい! クッキング! c) これで安心♪赤ちゃんのお世話体験 d) パパ出番ですよ～沐浴にチャレンジ～ ③産後のママのための育児相談会 ④ママのためのおはなし会 ⑤乳幼児相談	福祉こども部	保健推進課	①55人 ②a) ストレッチでボディケア 年間12回49人 9回36人 b) プレママの食事年間6回26人 ※調理実習はせずレシピを紹介 c) 年間5回126人 d) 年間8回175人 ③年間9回60人 ④年間9回232人 ⑤年間29回618人	①随時 ②a) ストレッチでボディケア 年間12回 b) プレママの食事年間11回57人 ※調理実習はせずレシピを紹介 c) 年間7回180人 d) 年間12回245人 ③年間12回70人 ④年間11回253人 ⑤年間41回815人	①随時 ②a) ストレッチでボディケア 年間12回 b) プレママの食事年間11回 ※調理実習はせずレシピを紹介 c) 年間7回 d) 年間12回 ③年間12回 ④年間11回 ⑤年間43回						母子健康手帳交付時から支援を必要とする人を把握して利用を促し、子育てに対する負担感や不安の軽減を図ることができている。	3	・妊娠期から子育て期まで、支援が必要な方へのフォロー体制の確立が必要 ・新型コロナウイルス感染症により実施方法や定員を制限して実施しており、キャンセル待ちが発生する教室がある。定員や事業内容の検討が必要である。
9	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	妊	乳	幼	少 <td>新生児訪問事業</td> <td>生後間もない産婦と新生児を対象に、希望者に対して、先天性異常の早期発見と育児不安の軽減を目的として、保健師が家庭に Outreach、個々の状況に応じて養育上必要な育児指導や相談を行う。</td> <td>福祉こども部</td> <td>保健推進課</td> <td>647人</td> <td>718人</td> <td>随時実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>母子の状況を実際に見ることでよって現状にあった指導や相談ができた。</td> <td>3</td> <td>専門職で対応し、新生児訪問数をさらに伸ばすことが必要。母への健康教育が必要である。</td>	新生児訪問事業	生後間もない産婦と新生児を対象に、希望者に対して、先天性異常の早期発見と育児不安の軽減を目的として、保健師が家庭に Outreach、個々の状況に応じて養育上必要な育児指導や相談を行う。	福祉こども部	保健推進課	647人	718人	随時実施						母子の状況を実際に見ることでよって現状にあった指導や相談ができた。	3	専門職で対応し、新生児訪問数をさらに伸ばすことが必要。母への健康教育が必要である。
10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	妊	乳	幼	少 <td>未熟児訪問指導事業</td> <td>正常な新生児にくらべ発達が十分でない未熟児の健全な成長と養育する保護者の支援のための訪問指導を行う。</td> <td>福祉こども部</td> <td>保健推進課</td> <td>104人 (市民以外5人含む)</td> <td>97人</td> <td>随時実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>連携する医療機関も増加してきており、適切な時期に支援ができるようになってきている。</td> <td>3</td> <td>低出生体重児を減らすため、予防的介入が必要である。</td>	未熟児訪問指導事業	正常な新生児にくらべ発達が十分でない未熟児の健全な成長と養育する保護者の支援のための訪問指導を行う。	福祉こども部	保健推進課	104人 (市民以外5人含む)	97人	随時実施						連携する医療機関も増加してきており、適切な時期に支援ができるようになってきている。	3	低出生体重児を減らすため、予防的介入が必要である。
11			1								妊	乳	幼	少 <td>乳児家庭全戸訪問事業</td> <td>生後4か月になるまでの乳児がいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩みや不安を聴き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、乳児及びその保護者の心身の状況や養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対して、適切なサービスの提供につなげる。</td> <td>福祉こども部</td> <td>保健推進課</td> <td>225人</td> <td>174人</td> <td>随時実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>NPOに委託して訪問を実施し情報の提供や状況把握を実施できた。連携を密にすることで支援が必要な家庭には保健師が対応できた。</td> <td>3</td> <td>訪問数の減少により、新生児訪問への移行の含めて検討する必要がある。</td>	乳児家庭全戸訪問事業	生後4か月になるまでの乳児がいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩みや不安を聴き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、乳児及びその保護者の心身の状況や養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対して、適切なサービスの提供につなげる。	福祉こども部	保健推進課	225人	174人	随時実施						NPOに委託して訪問を実施し情報の提供や状況把握を実施できた。連携を密にすることで支援が必要な家庭には保健師が対応できた。	3	訪問数の減少により、新生児訪問への移行の含めて検討する必要がある。
12	1	1	1			1					妊	乳	幼	少 <td>3か月児健診</td> <td>乳幼児初期に、先天的あるいは開産期・新生児期に何らかの原因で起こった身体・精神面の疾病・異常等を早期に発見することにより、適切な指導を行い、乳児期の健全な成長発達を図ること及び育児支援を目的としている。</td> <td>福祉こども部</td> <td>保健推進課</td> <td>年間36回 1,086人</td> <td>年間36回 1,019人</td> <td>年間36回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>児の成長に合わせた、乳幼児の健康保持・増進・疾患の早期発見、親への育児支援を行うことができている。</td> <td>3</td> <td>健やか親子21のアンケート調査結果を分析し、効果的な指導内容を検討する。</td>	3か月児健診	乳幼児初期に、先天的あるいは開産期・新生児期に何らかの原因で起こった身体・精神面の疾病・異常等を早期に発見することにより、適切な指導を行い、乳児期の健全な成長発達を図ること及び育児支援を目的としている。	福祉こども部	保健推進課	年間36回 1,086人	年間36回 1,019人	年間36回						児の成長に合わせた、乳幼児の健康保持・増進・疾患の早期発見、親への育児支援を行うことができている。	3	健やか親子21のアンケート調査結果を分析し、効果的な指導内容を検討する。

健康づくり関連事業一覧

福祉こども部(7/17)

◎関連分野

栄…栄養・食生活、運…運動・身体活動、休…休養・こころの健康、歯…歯の健康、煙…喫煙、酒…飲酒、健…健康行動

◎ライフステージ

妊娠…妊娠出産期(妊婦)、乳幼…乳幼児期(0～5歳)、少年…少年期(6～15歳)、青年…青年期(16～29歳)、壮前…壮前期(30～44歳)、壮後…壮後期(45～64歳)、高齢…高齢期(65歳以上)

No.	関連分野										ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性	
	栄	運	休	歯	煙	酒	健	妊	乳	少	青	壮	高	指標(単位)	目標								実績	達成率(自動入力)	評価(a)(自動入力)	内容	評価(b)				
13	1	1	1	1			1	1							10か月児健診	10か月児は乳児期から幼児期への移行期にあたり、運動機能と精神機能に著しい進歩が見られる時期である。運動面では、ハイハイでの移動や座位の安定、拇指先把握等の操作ができるようになり、精神面では人見知り、後追い等綿密な母子関係が生まれ、音声や動作の模倣等、人とのやりとりをするための土台が作られ、自我の現れである「自分です」という意識が育つ時期である。そして歯が生え始め、咀嚼力がつくにつれて食生活も変化する時期である。この時期に健診を実施することにより、①疾病又は異常(疑いを含む)の発見、②運動・精神機能の発達状態を把握し、適切な指導を行う。③保護者の相談に応じ、育児指導・事故防止・栄養指導等を行い、乳児の健やかな成長を援助することを目的とする。	福祉こども部	保健推進課	随時実施 1,095人	随時実施 1,036人	随時実施								児の成長に合わせた、乳幼児の健康保持・増進・疾患の早期発見・親への育児支援を行うことができる。	3	健診受診率の向上
14	1	1	1	1	1		1	1							1歳8か月児健診	乳幼児早期に、運動機能、視・聴覚等の障害、精神遅滞等の障害を持った子どもを発見し、適切な指導を行い、障害の顕在化、固定化や二次的障害の発生などを軽減するとともに、生活習慣の自立、う歯の予防、乳児の栄養、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持・増進を図るものとして実施している。	福祉こども部	保健推進課	年間38回 1,217人	年間35回 1,110人	年間36回						児の成長に合わせた、乳幼児の健康保持・増進・疾患の早期発見・親への育児支援を行うことができる。	3	健やか親子21のアンケートや調査等の結果を分析し効果的な指導内容を検討する。		
15	1	1	1	1	1		1	1							3歳児健康診査	3歳児における幼児期の発育状況を多面的に検査し、総合的に判断する場を保障することで、児の異常の早期発見・早期対応(虐待を含む)に努め、対象幼児の健康状態を把握する機会とする。また、その結果に基づき適切な知識の提供や保健指導を行うことで、保護者の育児不安解消を図り、もって幼児の健康の保持増進・健全育成に資するものとして実施する。	福祉こども部	保健推進課	年間39回 1,452人	年間35回 1,154人	年間36回						児の成長に合わせた、乳幼児の健康保持・増進・疾患の早期発見・親への育児支援を行うことができる。	3	再検査及び精密検査受診率の向上のため、適切な受診行動ができるよう指導方法の検討が必要。		
16				1				1							絵本ふれあい事業	絵本を通して親子のふれあいを豊かに、子育てが楽しくなるようなきっかけづくりを行うため、妊娠中にリーフレットと3か月児健診時に「おすすめ絵本リスト」を配付している。	福祉こども部	保健推進課	3か月児健診時に実施 配布数 1,086人	3か月児健診：年間36回1,019人 妊娠期は随時：1059人(転入妊婦含む)	年間36回 妊娠期は随時					妊娠期から乳幼児健診時まで、成長に合わせて、絵本を通した子どもとのコミュニケーションの方法や意義を伝えることができる。	3	親子のふれあいを豊かにするための、さらなる取り組み内容の検討が必要。			

健康づくり関連事業一覧

福祉こども部(8/17)

◎関連分野

栄…栄養・食生活、運…運動・身体活動、休…休養・こころの健康、歯…歯の健康、煙…喫煙、酒…飲酒、健…健康行動

◎ライフステージ

妊娠…妊娠出産期(妊婦)、乳幼…乳幼児期(0～5歳)、少年…少年期(6～15歳)、青年…青年期(16～29歳)、壮前…壮年前期(30～44歳)、壮後…壮年後期(45～64歳)、高齢…高齢期(65歳以上)

No.	関連分野											ライフステージ				事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性						
	栄	運	休	歯	煙	酒	健	妊	乳幼	少年	青年	壮前	壮後	高齢	指標(単位)								目標	実績	達成率(自働入力)	評価(a)(自働入力)	内容	評価(b)								
																													内容		評価(b)					
17	1							1													離乳食教室	乳児をもつ保護者が健全な発育・発達のため育児力をつけることの支援をする。赤ちゃんにとって、初めての食事の練習が離乳食である。赤ちゃんの発育・発達状況、生活状況を把握し、与えていく食事の量と質について立案し、摂食機能や食行動の発達を促すよう食品や調理方法に配慮した食事提供ができるようになり、離乳食作り、家族の食事作りが楽しいことを知ってもらおう。また、乳児をもつ保護者が育児不安を解消し子育てに楽しみを見出せるよう支援する。親子の諸問題について、育児不安など子育て支援を語り合える場とする。	福祉こども部	保健推進課	年間18回88人 ※新型コロナウイルスの影響で、講話を中心に実施。調理実習はせずデモンストラーションのみ。	年間22回126人 ※新型コロナウイルス感染症により、講話を中心に実施。調理実習はせずデモンストラーションのみ。	年間22回 ※新型コロナウイルス感染症により、講話を中心に実施。調理実習はせずデモンストラーションのみ。							離乳食を通じて、保護者の健全な育児力の支援ができています。	3	・保護者のニーズに合わせた簡単な離乳食の作り方の実習を検討する。 ・事業に参加できなかった保護者への情報提供
18			1				1	1													妊婦歯科健康診査事業	妊娠中の口腔の健康状態を確保し、健康な妊娠及び安全な分娩と健康な子の出生を支援するため、協力医療機関に委託して実施する。	福祉こども部	保健推進課	助成件数 335件	助成件数 377件	随時					妊娠中の口腔の健康状態を診査し、健康な妊娠・出産を迎えてもらうことができています。	3	受診率向上に努めていく。		
19	1			1			1	1	1	1	1	1									歯のひろば	う歯・歯周病予防のための正しい知識の普及・啓発を図ることにより乳幼児から高齢者までの歯の健康保持の向上に寄与する。	福祉こども部	保健推進課	新型コロナウイルスの影響で中止	11月5日(土)実施 151人	11月実施予定					全年代層に対して、歯菌や歯周病の予防に関する正しい普及啓発を行うことができた。	3	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、実施方法の検討を行う。		
20			1				1	1													産婦健康診査事業	産後うつ予防や新生児への虐待予防を図る観点から、出産後間もない時期の産婦に対する健康診査の費用を助成することにより、産後初期段階における母子に対する支援を強化する。	福祉こども部	保健推進課	延べ受診件数 1,601件	令和4年度から妊婦健康診査事業に事業統合	—					—				
21							1	1													新生児聴覚スクリーニング検査事業	聴覚障害の有無を早期に見発するのための新生児聴覚スクリーニング検査の受診券を母子健康手帳交付時に配付する。	福祉こども部	保健推進課	—	受診件数 798件 (令和4年度から実施)	随時					聴覚障害の有無の早期発見や、要再検の場合の支援などにつながっている。	3	今後も継続して実施。		

健康づくり関連事業一覧

健康長寿部(9/17)

◎関連分野

栄…栄養・食生活、運…運動・身体活動、休…休養・こころの健康、歯…歯の健康、煙…喫煙、酒…飲酒、健…健康行動

◎ライフステージ

妊娠…妊娠出産期(妊婦)、乳幼…乳幼児期(0～5歳)、少年…少年期(6～15歳)、青年…青年期(16～29歳)、壮前…壮年前期(30～44歳)、壮後…壮年後期(45～64歳)、高齢…高齢期(65歳以上)

No.	関連分野										ライフステージ				事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性
	栄	運	休	歯	煙	酒	健	妊	乳	少	青	壮	高	指								目	実	達	評	内	評		
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	宇治市健康づくり・食育アライアンス事業	地域で個々に健康づくり・食育活動に取り組み団体同士を結びつけ、団体同士の交流を深める新たなネットワーク「宇治市健康づくり・食育アライアンス」を構築し、地域での健康づくり・食育活動を活性化させる。また、健康づくりに興味を抱いた市民が、身近な健康情報を取得できるようそれぞれの活動に係る情報発信について強化する。	健康長寿部	健康づくり推進課	【加入団体数】73団体 【加入団体同士のコラボ事業数】16事業	【加入団体数】86団体 【加入団体同士のコラボ事業数】10事業	【加入団体数】90団体 【加入団体同士のコラボ事業数】10事業	加入団体数	80	86	108%	3	加入団体数については年間目標である10団体を上回る加入があった。	3	加入団体数は年々増加しており、健康づくり・食育の取り組みが広がっている。さらなる事業の充実や市民への団体の周知を行っている。
2	1													食生活改善推進員地区組織活動支援事業	健康づくりや生活習慣病予防を推進するため、食生活改善推進員「若菜の会」と協力して、望ましい生活習慣の普及・啓発を行う。	健康長寿部	健康づくり推進課	年間20回(自主活動回数) 【参加者数】82人 (自主活動参加会員数)	年間43回(自主活動回数) 【参加者数】143人 (自主活動参加会員数)	会員の状況と活動内容について、会と相談しながら支援を続けていく必要がある。					令和3年度と比べ活動回数が大幅に増え、市民への食生活の普及・啓発を行う機会が増えた。	3	自主活動回数がここ数年大きく減少した。会員数、各地域での依頼数の減少、新型コロナウイルス感染症の影響と考えられるが、改善傾向がみられるため、積極的に活動支援を行っている。		
3	1		1											健康相談事業	個人の健康面に関する相談対応を行うことにより、正しい知識の普及・健康不安の軽減・自己の健康管理への意識を高めることで、健康の保持増進・生活習慣病等の予防に資し、健康寿命延伸を図ることを目的に実施する。(成人健康相談等)	健康長寿部	健康づくり推進課	72回 63人 ※コロナの影響によるスポーツまつり等各種イベントの中止、健康展の個別相談中止等により減少。	116回 333人 ※雨天によりスポーツまつり中止	継続実施。成人相談については月～金曜日に実施。その他、市内地域のイベントや高齢者サロン等での出張健康相談・展示を実施する。					令和3年度と比べると相談および電話・窓口の相談件数は増加した。	2	他課依頼(高齢者サロンなど)の出張依頼の減少。広報活動強化。		
4	1	1												健康づくり事業・健康相談事業・出前講座・地区組織支援・食育サポーター講座・普及啓発事業	生活習慣病の予防、特に「心疾患・脳血管疾患予防」「メタボリックシンドローム予防」に着目した運動習慣の定着、食生活の改善に向けた知識技術の普及・啓発を行い、自身の身体への関心を高め、市民が自ら選択して健康行動がとれるようになることを目的とする。また、市民が身体の仕事を理解し、継続可能な生活改善行動を図るための支援を行うことで、健康の保持増進・健康寿命の延伸に向けた生活習慣病予防・要介護状態予防への支援を図る。	健康長寿部	健康づくり推進課	113回 1,150人 ※コロナにより各種イベントの中止や講座の定員縮小を行ったため、減少。	137回 2,077人	継続実施。64歳未満対象の教室参加者の伸び悩み等の課題があり、講座名変更や再編を行う。					他課との連携や市公式LINEの活用など広報を広げることで講座の新規参加者が増加した。	2	若年層の参加者数の低迷。健康無関心層へのアプローチをおこなっていく。		
5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	健康データ分析・地区診断事業	医療・介護・保健等のデータを結合して分析用ソフト(LIFEDB)を活用することで、地域ごとの健康課題を明確にする。また、市民・地域・行政が一体となって健康づくりを進めるため、分析結果を活用し、その地域特性に合わせた健康づくりの推進を行う。	健康長寿部	健康づくり推進課	-	(令和4年度新規事業) 医療・介護・保健等のデータを結合、分析機能にて分析を実施	モデル地域を1地域選定し、モデル地域において地域特性に合わせた事業を検討するためのワークショップ(2回)を実施予定。					令和4年度中にモデル地域の選定まで行う予定であったが、データ作成スケジュールに変更があったため、医療・介護・保健等のデータ分析までの実施となった。	2	今後は分析結果を活用し、地域特性に合わせた事業について検討していく予定である。		
6														健康診査(生保)	生活保護世帯等の方を対象に特定健診と同等の健診を実施する。	健康長寿部	健康づくり推進課	受診者数:180人 受診率:8.1%	受診者数:298人 受診率:13.5%	昨年度同様、対象者全員に受診票を送付する。				対象者全員に受診票を送付し、周知を図ることができた。	2	受診率の低迷			
7														胃がん検診	胃がんの早期発見・早期治療を行い、胃がんによる死亡率を減少させることを目的に検診を実施する。	健康長寿部	健康づくり推進課	受診者数:1,134人 受診率:1.2%	受診者数:1,486人 受診率:1.5%	申込を2回に分けて実施 国保加入者に対して受診勧奨通知を送付 未受診者に個別勧奨通知を送付	受診率	5.1	1.5	29%	1	申し込みを2回に分け、広報をわかりやすい様式に変更した。また、国保加入者に受診勧奨通知を送付した。その他、受診の受け皿を拡大した。	2	受診率の著しい低迷。特に壮年期の受診率の低迷(受診者の高齢化) 周知及び受診環境整備をさらに強化 胃内視鏡検査の導入に向けて調整	

健康づくり関連事業一覧

健康長寿部(10/17)

◎関連分野

栄…栄養・食生活、運…運動・身体活動、休…休養・こころの健康、歯…歯の健康、煙…喫煙、酒…飲酒、健…健康行動

◎ライフステージ

妊娠…妊娠出産期（妊婦）、乳幼…乳幼児期（0～5歳）、少年…少年期（6～15歳）、青年…青年期（16～29歳）、壮前…壮前期（30～44歳）、壮後…壮後期（45～64歳）、高齢…高齢期（65歳以上）

No.	関連分野					ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性														
	栄	運	休	煙	酒	健	妊	乳	幼	少								年	青	壮	前	後	高	指		標	目	実	達	成	率	評	価	(a)	内	容	評	価	(b)
8						1						1	1	1	肺がん検診	肺がんの早期発見・早期治療を行い、肺がんによる死亡率を減少させることを目的に検診を実施する。	健康長寿部	健康づくり推進課	受診者数：2,361人 受診率：1.1%	受診者数：2,811人 受診率：1.5%	申込を2回に分けて実施 国保加入者に対して受診勧奨通知を送付 未受診者に個別勧奨通知を送付	受診率	4.7	1.5	32%	1	2	申し込みを2回に分け、広報をわかりやすい様式に変更した。また、国保加入者に対して受診勧奨通知を送付した。その他、受診の受け皿を拡大した。	受診率の著しい低迷、特に壮年期の受診率の低迷（受診者の高齢化） 周知及び受診環境整備をさらに強化										
9						1						1	1	1	大腸がん検診	大腸がんの早期発見・早期治療を行い、大腸がんによる死亡率を減少させることを目的に検診を実施する。	健康長寿部	健康づくり推進課	受診者数：8,417人 受診率：3.5%	受診者数：9,445人 受診率：4.1%	国保加入者に対して受診勧奨通知を送付	受診率	6.9%	4.1%	59%	2	国保加入者に対して受診勧奨通知を送付し、周知を図ることができた。	受診率の低迷、罹患率が高い年齢に向けた受診勧奨											
10						1						1	1	1	乳がん検診	乳がんの早期発見・早期治療を行い、乳がんによる死亡率を減少させることを目的に検診を実施する。	健康長寿部	健康づくり推進課	受診者数：3,335人 受診率：14.0%	受診者数：3,789人 受診率：15.5%	国保加入者に対して受診勧奨通知を送付 令和4年度の個別勧奨の送付数を継続	受診率	17.0%	15.5%	91%	3	国保加入者に対して受診勧奨通知を送付し、国保加入者以外の者への個別勧奨の送付数も増加することで周知を図ることができた。実施期間を2月延長した。	罹患率が高い年代に向けた受診勧奨、受診環境整備を強化											
11						1						1	1	1	子宮頸がん検診	子宮頸がんの早期発見・早期治療を行い、子宮頸がんによる死亡率を減少させることを目的に検診を実施する。	健康長寿部	健康づくり推進課	受診者数：3,269人 受診率：9.8%	受診者数：3,863人 受診率：11.4%	国保加入者に対して受診勧奨通知を送付 令和4年度の個別勧奨の送付数を継続	受診率	12.2%	11.4%	93%	3	国保加入者に対して受診勧奨通知を送付し、国保加入者以外の者への個別勧奨の送付数も増加することで周知を図ることができた。実施期間を2月延長した。	罹患率が高い年代に向けた受診勧奨											
12						1								1	前立腺がん検診	前立腺がんの早期発見・早期治療を行い、前立腺がんによる死亡率を減少させることを目的に検診を実施する。	健康長寿部	健康づくり推進課	受診者数：1,581人	受診者数：1,886人	国保加入者に対して受診勧奨通知を送付						2	国保加入者に対して受診勧奨通知を送付し、周知を図ることができた。	受診者数の低迷。 指針外の検診であるため、実施についての医師会等との継続的な協議が必要。										
13						1							1	1	肝炎ウイルス検診	市民に、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、住民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導を受け、医療機関を受診することにより、肝炎による健康障害を回避し、症状を軽減し進行を遅延させることを目的とする。	健康長寿部	健康づくり推進課	受診者数：946人	受診者数：1,241人	例年と同様に実施 40歳、50歳、60歳の人に個別勧奨通知を送付						2	40歳、50歳、60歳の人に個別勧奨通知を送付し、周知を図ることができた。	受診者数の低迷。										
14						1								1	結核検診	結核の早期発見・早期治療の為、検診を実施する。	健康長寿部	健康づくり推進課	受診者数：1,821人	受診者数：2,154人	申込を2回に分けて実施 国保加入者に対して受診勧奨通知を送付 未受診者に個別勧奨通知を送付						2	申し込みを2回に分け、広報をわかりやすい様式に変更した。また、国保加入者に対して受診勧奨通知を送付した。その他、受診の受け皿を拡大した。	受診者数の低迷。 周知及び受診環境整備をさらに強化										
15					1									1	成人歯科健診	成人期の歯の喪失の原因である歯周疾患を予防、早期発見し、生涯自分の歯で摂食行動ができることを通じて、住民が高齢期になっても、QOL（生活の質）を維持し豊かな日常生活を送ることが出来るようにするために実施する。また、健診結果に基づき適切な口腔に対する保健指導を行い、口腔衛生の向上を図ることを目的とする。	健康長寿部	健康づくり推進課	受診者数：179人 受診率：1.8%	受診者数：182人 受診率：1.9%	例年と同様に実施 40歳、50歳、60歳の人には肝炎ウイルス個別勧奨通知に歯科健診チラシを同封 令和4年度から精密検査受診指導を開始した。						2	40歳、50歳、60歳の人には肝炎ウイルス個別勧奨通知に歯科健診チラシを同封した。 令和4年度から精密検査受診指導を開始した。	受診率の著しい低迷。										
16						1								1	宇治市後期高齢者医療制度半日人間ドック受診補助事業	高齢者の健康管理と疾病の予防、早期発見、早期治療を図ることを目的として後期高齢者医療制度被保険者を対象に人間ドックの受診料を助成する。	健康長寿部	健康づくり推進課	受診者数：199人 ◎定額補助（11,000円）とし 定員を廃止 ◎回数：1人に対し1回	受診者数：246人	例年と同様に実施						2	例年と同様に実施した。令和3年度の制度変更後、受診者数が減少したが、令和4年度は微増した。	受診者数は伸びているが、受診率は横ばいである。										
17						1								1	健康診査事業（後期）	高齢者の医療の確保に関する法律に規定される後期高齢者のQOL（生活の質、人生の質及び生命の質）の確保、介護予防及び生活習慣病の早期発見のため後期高齢者医療被保険者の健康診査事業を行う。	健康長寿部	健康づくり推進課	受診者数：8,383人	受診者数：9,397人	例年と同様に実施						2	例年と同様に実施し、令和4年度の受診者数はコロナ以前の水準に回復した。被保険者数の増加に伴い、受診者数は微増傾向である。	受診者数は伸びているが、受診率は横ばいである。										

健康づくり関連事業一覧

健康長寿部(12/17)

◎関連分野

栄…栄養・食生活、運…運動・身体活動、休…休養・こころの健康、歯…歯の健康、煙…喫煙、酒…飲酒、健…健康行動

◎ライフステージ

妊娠…妊娠出産期(妊婦)、乳幼…乳幼児期(0～5歳)、少年…少年期(6～15歳)、青年…青年期(16～29歳)、壮前…壮前期(30～44歳)、壮後…壮後期(45～64歳)、高齢…高齢期(65歳以上)

No.	関連分野										ライフステージ				事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性													
	栄	運	休	歯	煙	酒	健	妊	乳	幼	少	年	壮	前								後	高	齢	指	標	目	標		実	績	達	成	率	(a)	評	価	内	容	評	価	(b)
26			1										1	1	1	認知症家族支援プログラム	認知症の方を介護されている方を対象に、認知症についての正しい知識や介護方法等について伝え、参加者交流を行い、介護者の心身の安定を図り継続した介護ができるよう支援している。	健康長寿部	長寿生きがい課	実施回数6回 実人数7人 延人数24人	実施回数6回 実人数5人 延人数26人	年間6回開催予定													認知症の人を介護する家族が、認知症について正しい知識や介護方法等を知り、また参加者同士の交流から心身の安定を得ることができている。	3	介護者と日々かかわっているケアマネジャーや介護保険サービス事業所、地域包括支援センターとも連携し、広く参加を呼びかけていく。					
27			1										1	1	1	認知症家族支援プログラム08会	認知症の方を介護されている方を対象に、介護者同士の交流を行い、介護者の心身の安定を図り継続した介護ができるよう支援している。	健康長寿部	長寿生きがい課	実施回数8回 実人数13人 延人数32人 ※5,6,8,9月中止	実施回数12回 実人数18人 延人数58人	年間12回開催予定													介護者同士のピアカウンセリングの機会として活用されている。	3	介護者同士のピアカウンセリングとして有効であるため、介護関係者を含め、広く参加を呼びかけていく。					
28			1													セルフパワリハ	筋力向上や転倒予防を目的に、機器を活用したトレーニングを実施する。	健康長寿部	長寿生きがい課	実施回数 229回 実人数 197人 延人数 5,648人 *緊急事態宣言発出中は中止。代替として、運動の動画を作成し、HPに掲載。 定員を制限し、総入れ替え制にて実施。	実施回数 278回 実人数 202人 延人数 7,722人	定員を制限したままで継続実施。コロナ禍前に実施していたストレッチを再開予定。													感染状況等で休止することなく実施できた。感染制限の緩和により徐々に参加者が増えた。	2	感染症の制限の緩和で参加者利用が増えつつあり、定員よりも多くの希望者が出た場合の実施方法について検討が必要であり、コロナ前に実施していたストレッチについて再開を検討。					
29			1													パワリハトレーニング教室	筋力向上や転倒予防を目的に、機器を活用したトレーニングを実施する。送迎あり。	健康長寿部	長寿生きがい課	実施回数 197回 実人数 148人 延人数 1,956人 *緊急事態宣言発出中は中止。代替として、運動の動画及び資料の作成・送付、電話で実施状況等の聞き取り実施。	実施回数 240回 実人数 160人 延人数 2,756人	継続実施													感染状況等で休止することなく実施できた。	2	年間2回(春・秋)の申し込み制の教室。参加者はリピーターが多いため、広く周知し、新規参加者を増やしていく。					
30			1													スロートレーニング教室	筋力向上を目的としたトレーニング(自重運動・ストレッチ)を実施する。送迎あり。	健康長寿部	長寿生きがい課	実施回数 132回 実人数 141人 延人数 1,769人 *緊急事態宣言発出中は中止。代替として、運動の動画及び資料の作成・送付、電話で実施状況等の聞き取り実施。	実施回数 160回 実人数 149人 延人数 2,447人	スロトレミックス分の実施回数を増加して実施。新たに栄養・口腔の講話を事業内で実施。													感染状況等で休止することなく実施できた。	2	年間2回(春・秋)の申し込み制の教室。参加者はリピーターが多く、会場により申込者数に差がある。会場により申込者数を増やしていく。会場により申込者数に差がある。					
31	1	1	1													はつらつトレーニング教室	運動機能、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防を複合的に組み入れ、機能改善を図る複合型教室を実施する。また、教室終了後も自主的に介護予防の取り組み(自主活動グループ化等)を実践できる内容で実施する。	健康長寿部	長寿生きがい課	実施回数 375回 実人数 395人 延人数 4,770人 *緊急事態宣言発出中は中止。代替として、運動の動画及び資料の作成・送付、電話で実施状況等の聞き取り実施。	実施回数 560回 実人数 425人 延人数 6,980人	継続実施													集会場実施を増やし、教室終了後の自主グループへの移行支援を実施できた。	2	年間2回(春・秋)の申し込み制の教室。申込者は、リピーターが多いため、会場により申込者数に差がある。教室終了後に、自主グループへ移行する者も増えているが、継続支援については検討必要。					

健康づくり関連事業一覧

健康長寿部(13/17)

◎関連分野

栄…栄養・食生活、運…運動・身体活動、休…休養・こころの健康、歯…歯の健康、煙…喫煙、酒…飲酒、健…健康行動

◎ライフステージ

妊娠…妊娠出産期(妊婦)、乳幼…乳幼児期(0～5歳)、少年…少年期(6～15歳)、青年…青年期(16～29歳)、壮前…壮前期(30～44歳)、壮後…壮後期(45～64歳)、高齢…高齢期(65歳以上)

No.	関連分野										ライフステージ				事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性	
	栄	運	休	歯	煙	酒	健	妊	乳幼	少年	青年	壮前	壮後	高齢								指標(単位)	目標	実績	達成率(自働入力)	評価(a)(自働入力)	内容	評価(b)		
32	1	1													1	スロートレーニング教室(ミック)	運動機能、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防を複合的に組み入れ、機能改善を図る複合型教室を実施する。	健康長寿部	長寿生きがい課	実施回数 63回 実人数 66人 延人数 690人 *緊急事態宣言発出中は中止。代替として、運動の動画及び資料の作成・送付。電話で実施状況等の聞き取り実施。	実施回数 80回 実人数 53人 延人数 881人	スロトレに併せて実施						参加希望が減少傾向。運動のみのニーズが高いこともあり、実施方法の変更が必要。	2	令和5年度からスロトレに併せて実施。
33			1												1	ボランティア研修会	介護予防事業にかかわるボランティアを対象に介護予防の講義や実技を行い、今後の活動の継続に見守り等の支援を行う。	健康長寿部	長寿生きがい課	実施回数 4回 実人数 89人 延人数 100人	実施回数 6回 実人数 131人 延人数 159人 新規ボランティア登録8人	年4回以上実施予定					年間6回、複数回のシリーズものとして実施し、会場も3か所に増やし、参加しやすい環境を整えたため、参加者の満足度が高かった	2	ボランティアの高齢化、新規ボランティア登録の低迷が課題。	
34			1	1											1	認知症予防教室	認知症の予防を目的に、作業療法士・理学療法士・看護師等による脳活性化リハビリを実施する。	健康長寿部	長寿生きがい課	実施回数 136回 実人数 132人 延人数 1,871人 *緊急事態宣言発出中は中止。代替として、電話で実施状況等の聞き取り実施。	実施回数 160回 実人数 134人 延人数 2,273人	継続実施					感染状況等で休止することなく実施できた。	2	リピーターが多く新規者が少ないため、今までに開催したことのない会場での実施を検討していく。	
35			1												1	脳活性化教室	認知症についての正しい知識の普及を行い、脳活性化訓練やレクリエーションを実施し、認知症を予防する。各日常生活圏域に1か所の会場を設置し、予約不要での利用として気軽に通える教室を提供する。	健康長寿部	長寿生きがい課	実施回数 139回 実人数 477人 延人数 2,008人 *緊急事態宣言発出中は中止。感染予防のため事前予約制に変更して実施。	実施回数 192回 実人数 551人 延人数 3,014人	継続実施と合わせて、地域へ出向いて講座を実施する予定。					8圏域での実施であるが、固定会場での実施であり、リピーターが多いため、地域へ出向いて講座を実施するなどの変更を検討。	2	リピーターが多く、会場を複数に渡り参加している人がいる(圏域外の参加)。	
36	1	1	1												1	B型リハビリ教室	閉じこもり予防を目的に、学区福祉委員会の会員やボランティアを中心に地域参加型のリハビリを実施する。	健康長寿部	長寿生きがい課	実施回数 578回 実人数 158人 延人数 2,957人 *緊急事態宣言発出中は中止。代替として、電話で実施状況等の聞き取り実施。	実施回数 723回 実人数 107人 延人数 3,550人	継続実施					感染状況等で休止することなく実施できた。利用者条件について検討が必要。	2	会場(地域)により、参加者数に差がある。ボランティア、利用者の高齢化あり、夏季期間の実施に制限があることが課題。	
37	1	1	1	1											1	地域リハビリテーション活動支援事業	地域団体などから専門職派遣の要請があった場合、専門職の派遣を行う。	健康長寿部	長寿生きがい課	派遣回数: 54回 *緊急事態宣言発出中は中止。	派遣回数: 72回	継続実施。利用条件を週1の活動から月2回の活動実施でも利用可とした。					利用は増えたが定員が10人以上や週1の活動と利用条件が厳しかったため、利用条件について検討が必要。	2	自主活動を継続できるよう支援を実施。	

健康づくり関連事業一覧

都市整備部(14/17)

◎関連分野

栄…栄養・食生活、運…運動・身体活動、休…休養・こころの健康、歯…歯の健康、煙…喫煙、酒…飲酒、健…健康行動

◎ライフステージ

妊娠…妊娠出産期（妊婦）、乳幼…乳幼児期（0～5歳）、少年…少年期（6～15歳）、青年…青年期（16～29歳）、壮前…壮年前期（30～44歳）、壮後…壮年後期（45～64歳）、高齢…高齢期（65歳以上）

No.	関連分野					ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性														
	栄	運	休	歯	煙	酒	健	妊	乳	幼								少	年	青	年	壮	前	後		高	齢	指標(単位)	目標	実績	達成率(自動入力)	評価(a)(自動入力)	内容	評価(b)					
1		1								1	1	1	1	1	1	1									緑のウォークラリー	毎年4月29日に植物公園と太陽が丘を会場としてウォークラリーを行うと共に様々なブースを出店する。	都市整備部	公園緑地課	4月29日開催予定を延期⇒中止	4月29日開催令和4年度実績 628人（雨天）	4月29日開催令和5年度実績 1,772人	参加者数 (人)	3,000	628	21%	1	天候に恵まれず参加者数は伸びなかったが、都市緑化の普及啓発を進められ、また市民に緑化活動に対する参加、協力を得ることに繋がられたと考える。	2	天候に大きく左右されるイベントである。
2		1								1	1				1										公園バリアフリー整備事業	市内全域における既存の公園について、バリアフリー化及び遊具の更新を行う。	都市整備部	公園緑地課	遊具更新公園数：5公園 更新遊具数：5基 (複合遊具3基、大型滑り台2基)	遊具更新公園数：17公園 更新遊具数：18基 (大型滑り台3基、中型滑り台12基、車列シーソー1基、複合遊具1基、2径間鉄棒1基)	継続実施予定	遊具更新公園(公園) 更新遊具(基)	17公園 18基	17公園 18基	100%	3	計画通り、バリアフリー化及び遊具の更新を実施することが出来た。	3	国庫補助の動向等、市の財政見直しを考慮しながら実施する必要がある。
3		1								1		1	1												体育館トレーニング室運営事業	体育館トレーニング室の効果的な利用により市民の体力や健康の増進を図るため、インストラクターによるトレーニング指導を行い、個々の利用者に適したトレーニングを実施する。	都市整備部	公園緑地課	26,093人 4/25～5/11・8/20～9/30利用休止、 5/12～8/19・10/1～10/19時短利用	40,023人 8/17・1/25利用休止、 8/18・9/10・9/19時短利用	継続実施予定	利用者 (人)	-	40,023	-	3	新型コロナウイルス感染症の影響で施設の利用控えが続いているが、各種健康教室等の事業を拡充させることで、利用者を増加させることができた。	3	施設・設備の老朽化が進んでおり更新が必要なものが多い。

健康づくり関連事業一覧

教育委員会(15/17)

◎関連分野

栄…栄養・食生活、運…運動・身体活動、休…休養・こころの健康、歯…歯の健康、煙…喫煙、酒…飲酒、健…健康行動

◎ライフステージ

妊娠…妊娠出産期(妊婦)、乳幼…乳幼児期(0～5歳)、少年…少年期(6～15歳)、青年…青年期(16～29歳)、壮前…壮前期(30～44歳)、壮後…壮後期(45～64歳)、高齢…高齢期(65歳以上)

No.	関連分野										ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性	
	栄	運	休	歯	煙	酒	健	妊	乳幼	少年	青年	壮前	壮後	高齢	指標(単位)								目標	実績	達成率(自働入力)	評価(a)(自働入力)	内容	評価(b)			
1		1																学校施設使用件数 7,665件 登録団体加盟者数 6,923人	前年度と同様に実施	前年度と同様に実施	使用件数及び登録団体数	なし	集計中						課題のある中ではあるが適正に実施できた。	2	近隣住民より騒音、砂埃及びボールの飛び出しなどの苦情があり、利用団体の使用方法に工夫が必要。また、実態として学校側に色々な事象に対応して頂いていることも課題としてあげられる。
2	1																	給食実施回数 184回/年 児童数 9,090人	給食実施回数 184回/年 児童数 8,857人	給食実施回数 184回/年 児童数 8,562人								学校給食の実施目標である、適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ることができた。	3	課題は特にならない。引き続き事業を実施していく。	
3																		心臓検診受診者数 3,008人	心臓検診受診者数 2,894人	心臓検診受診予定者数 2,799人									小学校1・4年生を対象に心臓検診を実施することができた。	3	課題は特にならない。引き続き事業を実施していく。
4																		児童数 9,090人	児童数 8,857人	児童数 8,562人									学校保健や学校安全に関する事業を適切に実施することができた。	3	課題は特にならない。引き続き事業を実施していく。
5																		心臓検診受診者数 1,531人	心臓検診受診者数 1,465人	心臓検診受診予定者数 1,447人									中学校1年生を対象に心臓検診を実施することができた。	3	課題は特にならない。引き続き事業を実施していく。
6																		生徒数 4,745人	生徒数 4,604人	生徒数 4,421人									学校保健や学校安全に関する事業を適切に実施することができた。	3	課題は特にならない。引き続き事業を実施していく。
7																		園児数 95人	園児数 75人	園児数 86人									学校保健や学校安全に関する事業を適切に実施することができた。	3	課題は特にならない。引き続き事業を実施していく。

健康づくり関連事業一覧

教育委員会(16/17)

◎関連分野

栄…栄養・食生活、運…運動・身体活動、休…休養・こころの健康、歯…歯の健康、煙…喫煙、酒…飲酒、健…健康行動

◎ライフステージ

妊娠…妊娠出産期(妊婦)、乳幼…乳幼児期(0～5歳)、少年…少年期(6～15歳)、青年…青年期(16～29歳)、壮前…壮年前期(30～44歳)、壮後…壮年後期(45～64歳)、高齢…高齢期(65歳以上)

No.	関連分野										ライフステージ				事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価				令和4年度記述評価		課題・今後の方向性			
	栄	運	休	歯	煙	酒	健	妊	乳幼	少年	青年	壮前	壮後	高齢								指標(単位)	目標	実績	達成率(自動入力)	評価(a)(自動入力)	内容		評価(b)		
8										1							フッ化物洗口	むし歯予防対策として、週1回のフッ化物洗口を実施する。	教育委員会	学校管理課	毎週1回【参加者数】3,507人 *コロナウイルスによる影響のため、例年より実施人数が大幅に下がっている	毎週1回【参加者数】2,943人 *コロナウイルスによる影響のため、例年より実施人数が大幅に下がっている	感染症対策をはかりながら、例年どおり各校毎週1回の実施を予定。						コロナウイルスによる影響のため、例年より実施人数が大幅に下がっている。	2	より効果を上げるためには、対象年齢の拡大が有効であると考えられるが、幼稚園においては、顔拭等の課題もあるため慎重な検討が必要。
9										1						総合野外活動センター管理運営事業	「自然とのふれあい、自然のなかでの交流」をテーマに、青少年をはじめ、すべての市民が利用できる総合的な野外活動施設、総合野外活動センター「アクトハル宇治」の施設管理運営している。	教育委員会	生涯学習課	日帰り・宿泊での利用者数45,901人	日帰り・宿泊での利用者数77,849人	コロナ前の水準まで利用者数を回復させることを目指して施設運営を行う。						コロナ禍の中で、感染症対策に留意しながら施設運営を行った。その効果によりコロナ前までの利用者数水準には至らなかったものの、令和2年度・3年度と比較すると大幅な利用者数増となった。	2	アフターコロナの中で、コロナ前の水準まで利用者数を回復させることが今後の課題である。	
10																市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)	生涯学習に取り組んでいる市民の日常活動の発表と交流を図るとともに、市民の生涯学習への意欲を高め、学習活動への参加を促進することを目的に、実行委員会を組織して開催する。	教育委員会	生涯学習課	開催期間2日 23団体・個人が出席 参加延べ人数295人	開催期間2日 35団体・個人が出席 参加延べ人数686人	開催期間2日 約40団体・個人が出席予定 参加延べ人数約1,000人の予定						感染症対策に留意しながら実施したまなびんぐは2回目になったが、出席者数、参加者数ともに回復してきた。実行委員からも、参加者数の増加につながるような企画が出たり、当日の運営に積極的に携わってもらったりできた。	2	出席者数、参加者数、出展者と参加者の交流機会の増加に向け、実行委員とともに新しい工夫や企画を検討する。	
11	1															「食」に関する指導	食べ物に興味や関心を持ち、献立や食品名がわかり、食習慣や生活習慣と健康状態の関わりを知る。また、栄養バランスを考慮しながら献立を考えることができる。幼稚園教育要領・学習指導要領に基づき、生活の中に位置づけて指導。	教育委員会	学校教育課	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対応を図ったうえで、給食や弁当等昼食指導を通じて、また教科や領域の中で指導	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対応を図ったうえで、給食や弁当等昼食指導を通じて、また教科や領域の中で指導	給食や弁当等昼食指導を通じて、また教科や領域の中で指導予定						各校の新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた対策を講じて実施することができた。	3	特になし	
12																保健学習	個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。学習指導要領に基づき、小学校1年～中学校3年(全学年)で学級活動で学習。	教育委員会	学校教育課	全校で実施(小学校22校中22校、中学校10校中10校)	全校で実施(小学校22校中22校、中学校10校中10校)	全校で実施予定(小学校22校中22校、中学校10校中10校)						各校の新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた対策を講じて実施することができた。	3	特になし	
13	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1						体育科・保健体育科学習	健康でたくましい心身や体力を養うためには、適度な運動や休養、そして虫歯予防や喫煙の害を理解し、日々の生活で実践が図れるようにする。学習指導要領に基づき、小学校3～6年は体育科(保健)で、中学校は保健体育科で学習。	教育委員会	学校教育課	全校で実施予定(小学校22校中22校、中学校10校中10校)	全校で実施(小学校22校中22校、中学校10校中10校)	全校で実施予定(小学校22校中22校、中学校10校中10校)						各校の新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた対策を講じて実施することができた。	3	特になし	
14																ふれあい教育相談	小中学生とその保護者を対象に、不登校、いじめ、学習、学校生活などの「悩み」に対応し、「教育委員会」に電話することに躊躇される小中学生やその保護者を対象に相談しやすい体制とする。電話に加え、Eメールでも相談できる。	教育委員会	教育支援課	電話相談2件、Eメール7件(緊急事態宣言期間中はふれあい教育相談員による電話相談は休止、教育支援課にて対応。)	ふれあい教育相談は学校教育課と教育支援課内での電話相談とEメールとしており、令和4年度は実績なし。	今年度も昨年度に引き続き、電話相談とEメールでの対応予定。						Eメールによる相談はなかったが、学習や家庭教育、学校における活動に関することは学校教育課で、いじめ・不登校・子ども行動で気になることは教育支援課で相談を受けた。	2	事業の周知を図り、引き続き対応していきたい。	

健康づくり関連事業一覧

教育委員会(17/17)

◎関連分野

栄…栄養・食生活、運…運動・身体活動、休…休養・こころの健康、歯…歯の健康、煙…喫煙、酒…飲酒、健…健康行動

◎ライフステージ

妊娠…妊娠出産期(妊婦)、乳幼…乳幼児期(0～5歳)、少年…少年期(6～15歳)、青年…青年期(16～29歳)、壮前…壮年前期(30～44歳)、壮後…壮年後期(45～64歳)、高齢…高齢期(65歳以上)

No.	関連分野										ライフステージ						事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性					
	栄	運	休	煙	酒	健	乳幼	少年	青年	壮前	壮後	高齢	指標(単位)	目標	実績	達成率(自働入力)								評価(a)(自働入力)	内容	評価(b)										
15			1												1						心と学びのパートナー派遣事業	生徒の悩み相談・話し相手として生徒が身近に感じる大学(院)生、教員志望者等の若い世代、若しくは教職経験者などの相談員を中学校に配置することにより、不登校や問題行動の未然防止を図る。	教育委員会	教育支援課	配置時間数 1,680時間 6中学校に配置 相談 1,062人	配置時間数 1,680時間 6中学校に配置 相談 950人	引き続き、心の居場所サポーター(京都府事業の既存配置校)の配置のない6中学校に配置する。							生徒が悩みを気軽に相談できる若い世代等の相談員を配置し、関係機関等と連携しながら問題行動及び不登校の未然防止を図った。	2	不登校生徒個々に寄り添った適切な対応が求められる。
16			1												1						不登校児童生徒自立支援教室(～H29まで適応指導教室運営事業)	心理的な要因等で学校に行くことが出来ない児童・生徒の「心の居場所」として、不登校児童生徒自立支援教室で過ごすことにより学校復帰を支援し、一人一人の社会的自立に向けて支援を行う。	教育委員会	教育支援課	通所 30人 学校復帰 5人	通所 32人 学校復帰 6人	不登校児童生徒支援事業と一体的な運営を行う。							不登校児童生徒自立支援教室での支援・指導を通じ、不登校の児童生徒の学校生活及び社会生活への復帰、社会的自立に向けての支援を図った。	2	通所生への対応、学習支援が十分ではないなどの課題がある。
17														1							不登校児童生徒支援事業	学校への支援及び不登校児童生徒やその家庭への直接支援をとおして、不登校児童生徒の社会的自立に向けて支援を行う。	教育委員会	教育支援課	32ケースを支援	54ケースを支援	不登校児童生徒自立支援教室と一体的な運営を行う。							複雑な不登校問題に対し、児童生徒や家庭への支援をコーディネートを中心に、福祉部局との連携を図る中で社会的自立に向けて組織的に取り組んだ。	2	困難な事例への対応が課題である。
18			1												1						善法青少年センター活動事業	青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動などのセンター事業を行う。	教育委員会	善法青少年センター	参加者数 396人	参加者数 629人	参加者数見込み 650人	参加人数	500	629	126%	3		新型コロナウイルス感染症が収束の方向に向かう状況下において、これまで中止していた事業を徐々に実施できたことで、参加者数が増加した。	3	今後も多くの子どもたちに事業に参加してもらうために、事業内容の見直しや充実を図り、満足度の高い事業実施を目指す。
19	1	1													1						河原青少年センター活動事業	青少年を対象とした体験活動、文化・スポーツ活動事業などを実施することにより、子どもたちの健やかな成長に努める。	教育委員会	河原青少年センター	参加者数 1,470人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止事業あり。	参加人数 2,000人	参加人数 2,500人	参加人数	2,000	1,992	100%	3		子どもの興味関心が持てるよう更に事業内容を見直すとともに、保護者参加型の事業を拡大したため、参加者が増加した。	3	今後もより多くの子ども達に参加してもらうと共に事業内容を充実して満足度の高い事業実施を目指す。
20			1												1						大久保青少年センター活動事業	青少年を対象とした体験活動、文化・スポーツ活動事業などを実施することにより、子どもたちの健やかな成長に努める。	教育委員会	大久保青少年センター	参加者数 1,050人 ※新型コロナウイルスの影響による中止事業あり。	参加者数 2,305人 ※新型コロナウイルスの影響による中止事業あり。	参加者数 2,500人	参加者数(人)	1,500	2,305	154%	3		各種の青少年健全育成活動の実施により、子どもたちの健やかな成長に寄与することができた。事業の実施回数も令和3年度と比較して増加している。	3	青少年全般に関する支援事業や施策のさらなる充実を図る必要がある。

食育関連事業一覧

新規事業(1/13)

ライフステージ

妊娠…妊娠出産期（妊婦）、乳幼…乳幼児期（0～5歳）、少年…少年期（6～15歳）、青年…青年期（16～29歳）、壮前…壮前期（30～44歳）、壮後…壮年後期（45～64歳）、高齢…高齢期（65歳以上）

No.	ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性
	妊婦	乳幼	少年	壮前	壮後							高齢	指標(単位)	目標	実績	達成率(自動入力)	評価(a)(自動入力)	内容	
1	1	1	1	1	1	1	宇治市産農産物の販路拡大と地産地消を図るため、農業者と他業種の連携によるキャンペーンを行う。	産業観光部	農林茶業課 産業振興課	11月開催 参加農業者10名 参加飲食店14軒	1回開催予定	実施回数(回)	1	1	100%	3	農業者と飲食業とのマッチングにより新たな市内産農産物の販路拡大につなげることができた。	3	季節野菜の確保 農家と参加業種の増加
2		1	1	1	1		子育てにやさしいまち実現プロジェクトにおける子育て支援環境の充実のために幼・保・小・中学校への体験型出張講座、いちから作る体験教室、うーちゃ学校(地域版)を行う。	健康長寿部	健康づくり推進課	-	(小倉、木幡・黄檗エリアに実施) 幼・保・小・中学校への体験型出張講座 2か所×3校=6 いちから作る体験教室 2か所×5～6回=10～12回 うーちゃ学校(地域版) 2か所×1回=2回								今後、市全体への実施に向け検討していく。

食育関連事業一覧

市長公室(2/13)

ライフステージ

妊娠…妊娠出産期（妊婦）、乳幼…乳幼児期（0～5歳）、少年…少年期（6～15歳）、青年…青年期（16～29歳）、壮前…壮年前期（30～44歳）、壮後…壮年後期（45～64歳）、高齢…高齢期（65歳以上）

No.	ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性	
	妊婦	乳幼	少年	壮前	壮後								高齢	指標(単位)	目標	実績	達成率(自動入力)	評価(a)(自動入力)	内容		評価(b)
1	1	1	1	1	1	1	毎月19日は「食育の日」～食事で健康を考える日	株式会社典座・健康づくり推進課・職員厚生課が連携し、毎月19日に、塩分控えめの味噌汁やテーマに合わせた600kcal定食など、健康をテーマにしたメニューを提供し、同時にパネル展示やレシピ配付などの啓発活動も行う。	市長公室	職員厚生課 健康づくり推進課	【実施回数】11回 【各回限定】30食 【テーマ】適塩	【実施回数】9回 【各回限定】30食 【テーマ】適塩	廃止						適塩ランチの価格を、他の定食と同じにしたため、売れ残ることはなくなった。認知度も上がってきていたところではあったが、12月末をもって株式会社典座の運営が終了となったため、12月までの実施となった。	3	株式会社典座が宇治市役所食堂の運営を終了されたことに伴い、当事業も廃止となった。
2				1		1	野菜たっぷり塩ひかえめ弁当の販売	株式会社典座・健康づくり推進課・職員厚生課が連携し、毎月19日に「野菜たっぷり塩ひかえめ弁当」を販売する。	市長公室	職員厚生課 健康づくり推進課	【実施回数】11回	【実施回数】9回	廃止						メニューの内容を業者に任せていたので、内容についてもう少し協議する必要があった。株式会社典座12月末をもって株式会社典座の運営が終了となったため、12月までの実施となった。	2	株式会社典座が宇治市役所食堂の運営を終了されたことに伴い、当事業も廃止となった。

食育関連事業一覧

総務・市民協働部(3/13)

ライフステージ

妊娠…妊娠出産期（妊婦）、乳幼…乳幼児期（0～5歳）、少年…少年期（6～15歳）、青年…青年期（16～29歳）、壮前…壮年前期（30～44歳）、壮後…壮年後期（45～64歳）、高齢…高齢期（65歳以上）

No.	ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性
	妊娠	乳幼	少年	青年	壮後								高齢	指標(単位)	目標	実績	達成率(自動入力)	評価(a)(自動入力)	内容	
1	1	1	1	1	1	1	消費生活市民講座	総務・市民協働部	市民協働推進課	令和3年7月27日夏休み消費生活親子講座「お菓子の表示を調べよう！」(20人参加)	※中止 (令和4年7月28日夏休み消費生活親子講座「親子で学ぶ防災とフードロス～いざという時の備蓄食品をおいしく食べてみよう！」)	-						-		参加者の確保が課題。講座の対象者について、整理して実施内容を検討。
2	1	1	1	1	1	1	消費者月間ロビー展示	総務・市民協働部	市民協働推進課	令和3年5月17～21日実施(250人) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、京都府警による体験型講座を中止するなど事業を縮小	令和4年5月16～20日	令和5年5月22～26日						令和4年5月16日～20日実施(250人)、食生活改善推進委員「若葉の会」による食事バランスガイド等の展示を行った。また、京都府警察本部による体験型講座を実施(18人)した。	3	観覧者の確保が課題。タイムリーな展示ができるよう内容の充実を図る。

食育関連事業一覧

人権環境部(4/13)

ライフステージ

妊娠…妊娠出産期(妊婦)、乳幼…乳幼児期(0～5歳)、少年…少年期(6～15歳)、青年…青年期(16～29歳)、壮前…壮前期(30～44歳)、壮後…壮後期(45～64歳)、高齢…高齢期(65歳以上)

No.	ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性
	妊婦	乳幼	少年	青年	壮前								壮後	高齢	指標(単位)	目標	実績	達成率(自動入力)	評価(a)(自動入力)	
1				1	1	1	エコットクッキング教室	人権環境部	環境企画課	新型コロナウイルスの影響により、中止	1回実施	2回実施	実施回数	2	1	50%	2	新型コロナウイルスの影響により1回実施となった。	2	参加者の満足度が高く、関係団体との連携も進められている。実施に係る費用や労力に対して、会場等の都合上定員が少ないことが課題。
2			1	1	1	1	フードマイレージ講習会	人権環境部	環境企画課	新型コロナウイルスの影響により、中止	依頼がなかったため未実施	依頼により実施予定	実施回数	1	0	0%	1	依頼がなかったため未実施	1	依頼がない。
3			1				ecoットキッズクッキングコンテスト	人権環境部	環境企画課	新型コロナウイルスの影響により、中止	新型コロナウイルスの影響により、未実施	未定	実施回数	1	0	0%	1	実施できなかった	1	今後の実施方法については、検討が必要。
4			1	1	1	1	男女共同参画基礎講座	人権環境部	男女共同参画課	なし。 (基礎講座は「生理フレンドリーな街づくり～みんなのためのフェムテック～」を開催)	なし。 (「男女共同参画はどこへ行く?今まで、そしてこれから～私たちの中のアンコンシャス・バイアスを考える～」を開催)	基礎講座に食育関係を開催するかどうかが未定						今年度も食育関係ではない講座を開催することとなった。	1	内閣府の男女共同参画のアドバイザー派遣事業対象の優先テーマが毎年変わる。
5			1	1			環境教育	人権環境部	まち美化推進課	19小学校 7公立保育所 3民間保育園 11認定こども園 3公立幼稚園 4私立幼稚園	3中学校 21小学校 29幼保こども園	宇治市立小中学校及び宇治市内の幼稚園、保育園保育所、認定こども園が対象						新型コロナウイルス感染症が概ね取東に向かっているとの判断もあり、実施件数が回復した。実施内容も、まち美化推進課で新たに取り組んでいる事業の紹介や、自前で作成した動画を活用し、こどもたちに関心を持たせることができた。	3	令和5年度より、一部予算化された。今後の社会を担うこども達に、興味を持ってもらえる。
6			1				食べきり 広げよう ゼロの輪 (1)「給食学習会・食べきり週間・給食交流会・体験学習(野菜の栽培)」	人権環境部	まち美化推進課	実施なし	実施なし	今後実施予定なし								予算化された事業ではないため、今後実施予定なし。実施を希望される団体等があった場合には、予算要求を含め、継続事業としていくか検討する。

食育関連事業一覧

人権環境部(5/13)

ライフステージ

妊娠…妊娠出産期（妊婦）、乳幼…乳幼児期（0～5歳）、少年…少年期（6～15歳）、青年…青年期（16～29歳）、壮前…壮前期（30～44歳）、壮後…壮後期（45～64歳）、高齢…高齢期（65歳以上）

No.	ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性		
	妊娠	乳幼	少年	壮前	壮後								高齢	指標(単位)	目標	実績	達成率(自動入力)	評価(a)(自動入力)	内容		評価(b)	
7	1	1	1	1	1	1	食べきり 広げよう ゼロの輪 (2) 「ごみゼロレシピを活用した調理実習・クッキングスクール」	(2) 28年度に文教短期大学と共同で考案したごみゼロレシピを活用することにより、食品ロスの削減を目指します。	人権環境部	まち美化推進課	実施なし	実施なし	今後実施予定なし									予算化された事業ではないため、今後実施予定なし。実施を希望される団体等があった場合には、予算要求を含め、継続事業としていくか検討する。
8	1	1	1	1	1	1	食べきり 広げよう ゼロの輪 (3) 「食べきりフェスタ」	(3) 市民を対象に、学校給食における食品ロスの実情を周知・啓発をすることにより食の大切さを伝え、給食の食べ残しだけでなく家庭からの食品ロスの削減を目指します。	人権環境部	まち美化推進課	実施なし	実施なし	今後実施予定なし									予算化された事業ではないため、今後実施予定なし。実施を希望される団体等があった場合には、予算要求を含め、継続事業としていくか検討する。
9	1	1	1	1	1	1	フードサイクル	家庭で不要な、まだ食べられる食品を提供いただき、消費できる家庭にもらってもらおう取組。環境フェスタ(イベント)に合わせて実施。	人権環境部	まち美化推進課	実施なし	実施なし	実施予定なし									予算化された事業ではないため、今後実施予定なし。実施を希望される団体等があった場合には、予算要求を含め、継続事業としていくか検討する。

食育関連事業一覧

産業観光部(6/13)

ライフステージ

妊娠…妊娠出産期(妊婦)、乳幼…乳幼児期(0～5歳)、少年…少年期(6～15歳)、青年…青年期(16～29歳)、壮前…壮前期(30～44歳)、壮後…壮年後期(45～64歳)、高齢…高齢期(65歳以上)

No.	ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性
	妊娠	乳幼	少年	壮前	壮後								指標(単位)	目標	実績	達成率(自願入力)	評価(a)(自願入力)	内容	評価(b)	
1	1	1	1	1	1	山城マルシェ	京都府山城広域振興局等との共催により地元農家等による農産物・加工品の直売会を開催する。	産業観光部	農林茶業課	5回	5回	6回(予定)	実施回数(回)	5	5	100%	3	消費者に地元産の農産物等を直接届け地産地消を促進することができた。	3	市内農業者の出展数が少ない
2	1	1	1	1	1	宇治茶普及宣伝事業(市民茶摘みのつどい)	宇治市の伝統産業であり特産である宇治茶の普及啓発を図る。市民に茶摘みを体験してもらい、新茶での接待を行う。	産業観光部	農林茶業課	中止	5月8日(日)実施参加人数159人【参加上限】200人 事前申込制、50名×4部入替制	5月14日(日)実施予定【参加上限】200人 事前申込制、50名×4部入替制	参加者数(人)	200	159	80%	3	宇治茶の伝統的な手摘みを体験してもらうことで、市内産宇治茶を広くPRすることができた。	3	参加者数の減少
3	1	1	1	1	1	やましろ産ごちそうさんフェア	毎月3日に、株式会社典座が地元産の農作物を使用したメニューを提供する。	産業観光部	農林茶業課	【実施回数】6回	9回	—						地元産の農作物を使用することにより、地産地消を促進することができた。	3	令和4年12月末で閉店のため事業終了
4	1	1	1	1	1	宇治あぐりPR	各生産組合や農林業関係団体・機関が、特産品の販売や各種の企画等を通じて、各種イベント来場者に農業や林業に対しての親しみを持ってもらいたい機会とともに、市内産の農産物等の販売促進を図る。 人が集まっているイベントや場所で宇治市農産物等をPRする。	産業観光部	農林茶業課		各種イベントに出展3回	各種イベントに出展予定	実施回数(回)	3	3	100%	3	農業者等が様々なイベントに出展し、市内外の消費者へ市内産農産物のPRを行った。	3	参加イベントの増加

食育関連事業一覧

福祉こども部(7/13)

ライフステージ

妊娠…妊娠出産期(妊婦)、乳幼…乳幼児期(0～5歳)、少年…少年期(6～15歳)、青年…青年期(16～29歳)、壮前…壮前期(30～44歳)、壮後…壮後期(45～64歳)、高齢…高齢期(65歳以上)

No.	ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性			
	妊婦	乳幼	少年	青年	壮前								壮後	高齢	指標(単位)	目標	実績	達成率(自動入力)	評価(a)(自動入力)		内容	評価(b)	
1		1		1	1		地域子育て支援拠点事業	保健推進課の栄養士が訪問し、ひろばに来所した親子に対し、食事等の指導を実施	福祉こども部	こども福祉課	【実施回数】10回 【参加者数】138組	【実施回数】10回 【参加者数】77組 161名	8回予定							栄養士から一般的な食育指導から個別のケースに応じた相談対応を行い、子育て中の保護者の不安に寄り添い個々に応じた指導を実施することができた。	3	引き続き事業実施する。保護者が気軽に参加・相談できるよう、日頃からひろばを身近に感じてもらう、利用してもらえる環境づくりを引き続き行う。	
2			1				保育所給食事業(クッキング保育)	保育所で収穫した野菜などを使って保育士らの助けを得ながら調理し、友達とともに食べる。	福祉こども部	保育支援課	【参加者数】約940人 ※新型コロナウイルスの影響で、実施時期や実施方法について一部変更あり。	【参加者数】約890人 ※新型コロナウイルスの影響で、実施時期や実施方法について一部変更あり。	【参加者数】約890人							全園で実施できたことはよかったが、新型コロナウイルスの影響で子供たちが主に見るだけの内容になったことが残念だった。	2	子供の関わりが不十分であることが課題である。R5年度からはコロナ前の内容へと戻していく予定であり、より子供たちが主体となる充実した内容にしていく方向である。	
3				1			保育所給食事業(栽培収穫)	保育所の園庭で季節の野菜の苗を植え、水やりや生育の観察をしながら収穫をする。	福祉こども部	保育支援課	【参加者数】約940人	【参加者数】約890人	【参加者数】約890人							苗の栽培は計画通り実施でき、給食等にも活用できた。苗の栽培は引き続き実施していくが、R5年度は生産者と子供との交流を実施していく方向で、園と生産者とは調整中である。	2	コロナ前は実施していた生産者と子供との交流ができていないことが課題である。苗の栽培は引き続き実施していくが、R5年度は生産者と子供との交流を実施していく方向で、園と生産者とは調整中である。	
4				1			保育所給食事業食育教室	5歳の子どもたちに「炊飯の仕方」「食事のマナー」「朝食と食べ物のはたらき」「お箸の持ち方」などを実践的に伝える。 4歳の子どもたちに「お箸の持ち方と食事のマナー」について実施。 3歳の子どもたちに「お箸の持ち方」について実施。	福祉こども部	保育支援課	各園で実施 【参加者数】5歳 約200人 【参加者数】4歳 約200人 【参加者数】3歳 約150人	各園で実施 【参加者数】5歳 約200人 【参加者数】4歳 約200人 【参加者数】3歳 約150人	各園で実施 【参加者数】5歳 約200人 【参加者数】4歳 約180人 【参加者数】3歳 約170人								計画通り、各園で子供たちを主体に実施できた。	3	子供たちに体験しながら学んでもらうことができ、保育所の先生方からも好評であった。R5年度も同じ内容で実施していく方向である。
5				1	1		保育所給食試食事業	保護者参観時などに保護者に保育所で食べている給食を試食してもらい、家庭での食事の参考にしてもらう。	福祉こども部	保育支援課	中止	中止	中止							新型コロナウイルスの影響で中止となった。	1	保育参観自体も見合わせるなか、食事を伴う内容は実施できなかった。ここ数年中止となっているため、すぐに再開することが保育所向けて、R5年度は準備期間とする予定である。	
6				1	1		保護者啓発事業	保護者参観時などに保育士や栄養士などによる講演や給食だよりや献立表、保育所だよりや展示食などにより朝食摂取の大切さやバランス食など乳幼児の食事の在り方について伝える。	福祉こども部	保育支援課	献立表12回 保護者啓発紙2回 【参加者数】児童約940人の保護者	献立表12回 保護者啓発紙2回 【参加者数】児童約890人の保護者	献立表12回 保護者啓発紙2回 【参加者数】児童約890人の保護者							計画通り、実施できた。	3	今後も継続して実施していく。	
7				1			給食献立委員会	保育士・調理職員・保育支援課関係職員により構成し、献立検討情報提供や調査研究を行う。	福祉こども部	保育支援課	年6回(うち2回は書面開催) 【参加者数】14人	年6回(うち1回は書面開催) 【参加者数】14人	年6回 【参加者数】14人							計画通り、実施できた。	3	今後も継続して実施していく。	

食育関連事業一覧

福祉こども部 (8/13)

ライフステージ

妊娠…妊娠出産期 (妊婦)、乳幼…乳幼児期 (0～5歳)、少年…少年期 (6～15歳)、青年…青年期 (16～29歳)、壮前…壮前期 (30～44歳)、壮後…壮後期 (45～64歳)、高齢…高齢期 (65歳以上)

No.	ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価	課題・今後の方向性	
	妊婦	乳幼	少年	青年	壮前								壮後	高齢	指標(単位)	目標	実績			達成率(自動入力)
8		1					乳幼児健診	福祉こども部	保健推進課	3か月児健診 集団36回1,086人 1歳8か月児健診 集団38回1,217人 3歳児健診 集団39回1,452人 ※新型コロナウイルスの影響で、集団指導は中止	3か月児健診 集団36回1,019人 1歳8か月児健診 集団35回1,110人 3歳児健診 集団35回1,154人 ※新型コロナウイルス感染症により、集団指導は実施せず。	3か月児健診 集団36回 1歳8か月児健診 集団36回 3歳児健診 集団36回 ※新型コロナウイルス感染症により、小集団指導のみ。						健診時等に各保護者に対し、食に関する相談や児の発育に関する相談に適切な時期に対応した	3	朝食をとっていない児への指導方法
9			1	1			離乳食教室	福祉こども部	保健推進課	年間18回88人 ※新型コロナウイルスの影響で、講話を中心に実施。調理実習はせずデモンストラーションのみ。	年間22回126人 ※新型コロナウイルス感染症により、講話を中心に実施。調理実習はせずデモンストラーションのみ。	年間22回 ※新型コロナウイルス感染症により、講話を中心に実施。調理実習はせずデモンストラーションのみ。					講話や動画を通して、簡単な離乳食の作り方や出汁のとり方を伝えた。	3	保護者のニーズに合わせた簡単な離乳食の作り方や出汁のとり方の実習を検討する。事業に参加できなかった保護者への情報提供	
10	1	1		1	1		妊娠・産後支援事業	福祉こども部	保健推進課	①a) ストレッチでボディケア 年間9回36人 b) プレママの食事 年間6回26人 ※調理実習はせずレシピを紹介 c) 年間5回126人 ②年間29回618人	①a) ストレッチでボディケア 年間12回49人 b) プレママの食事 年間11回57人 ※調理実習はせずレシピを紹介 c) 年間7回180人 ②年間41回815人	①a) ストレッチでボディケア 年間12回 b) プレママの食事 年間11回 ※調理実習はせずレシピを紹介 c) 年間7回 ②年間43回					教室に参加した市民や相談してくる市民に対して個々の生活に合わせた栄養指導を行った。	3	(全般)・教室や相談事業に参加しない市民への啓発方法 ①b)新規参加者の伸び悩み、栄養の低関心層へのアプローチ ②栄養士の集団指導の内容を見直し、効果的に食育推進を図る必要がある。	

食育関連事業一覧

健康長寿部(9/13)

ライフステージ

妊娠…妊娠出産期(妊婦)、乳幼…乳幼児期(0～5歳)、少年…少年期(6～15歳)、青年…青年期(16～29歳)、壮前…壮年前期(30～44歳)、壮後…壮年後期(45～64歳)、高齢…高齢期(65歳以上)

No.	ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性	
	妊婦	乳幼	少年	青年	壮前								壮後	高齢	指標(単位)	目標	実績	達成率(自動入力)	評価(a)(自動入力)		内容
1	1	1	1	1	1	1	健康づくり・食育イベント	健康長寿部	健康づくり推進課	1月9日(日)アルプラザ宇治東で実施【参加団体】28団体【参加者】延べ500人	1月8日(日)生涯学習センター・産業会館にて実施【参加団体】36団体【参加者】延べ1,365人	12月17日(日)生涯学習センター、産業会館にて実施予定							参加団体数および参加者延べ人数が大幅に増加した。引き続き加入団体の参加数増加や多くの参加者に来てもらえるよう広報する。	3	アライアンス全体のイベントとして開催したが、参加団体は半以下であった。多様な健康づくり・食育を市民に広く広げるためには、より多くの団体の参加を目指す。
2	1	1	1	1	1	1	食育関連事業	健康長寿部	健康づくり推進課	①適塩ランチの提供(7月、12月) ②食育ラジオリー12回 ③食育だよりの発行12回	①適塩ランチの提供(1月) ②食育ラジオリー12回 ③食育だよりの発行12回	①適塩ランチの提供(1月) ②食育ラジオリー12回 ③食育だよりの発行12回							塩分の取り過ぎが身体に及ぼす影響など幅広い年齢層へ食の情報を広めている。引き続き広報していく。	3	広報の方法として、市ホームページと宇治市健康づくり・食育アライアンスのホームページに掲載、宇治市公式LINEへの掲載を実施しているが、どれだけの市民に浸透しているのかが見えにくい。
3					1	1	地域活性化事業	健康長寿部	健康づくり推進課	【実施回数】7回 【参加者数】47人	【実施回数】9回 【参加者数】73人	9回実施予定							幅広い年齢層へ食の情報を広めている。引き続き広報していく。	3	1回あたりの参加者数は昨年度平均で8.1人(定員8～12人)。参加者数の伸び悩み。回数は前年度同様、メニューを提示する機会を増やす方向。
4					1	1	食生活改善推進員養成講座	健康長寿部	健康づくり推進課	【受講者数】4人 【入会者数】4人	隔年での実施のため、実施なし	実施予定							実施なし		本市における食生活改善推進員の目標数は未達成であり、定期的実施する必要がある。また、修了生の若葉の会への定着が課題であり、若葉の会と連携しながら支援していく必要がある。
5	1	1	1	1	1	1	適塩推進事業(1)普及啓発	健康長寿部	健康づくり推進課	①健康展にて、適塩かるたを使用した普及啓発 ②イベントでの普及啓発 ③ホームページでの情報発信	①健康展にて、適塩かるたを使用した普及啓発 ②イベントでの普及啓発 ③ホームページでの情報発信 ④セブンイレブン店舗にて野菜摂取啓発POPの掲示	宇治産野菜のレシピ集の発行。健康展や、イベント等で適塩に関する普及啓発を実施する。							イベント等で普及啓発を行うことはできた。今年度から野菜の摂取量を増やすことが適塩につながるという視点で適塩の推進をした。	3	認知度の調査や、効果の検証の方法がなく、結果を評価できていないことが課題。
6					1	1	適塩推進事業(2)教育	健康長寿部	健康づくり推進課	④16人、4人、3人=計23人 ⑤9人(名称変更) ⑥87人 ※①②③⑦はコロナのため実施できず。	④19人+13人=33人 ⑤35人(名称変更して実施) ⑥90人	実施予定(⑤は名称変更)							新型コロナウイルス感染症の影響により実施人数は縮小して実施し周知はできたが幅広く適塩について引き続き啓発していく。	3	実施学校数を増やしたいが、コロナの影響や授業時間の確保が課題。

食育関連事業一覧

健康長寿部(10/13)

ライフステージ

妊娠…妊娠出産期(妊婦)、乳幼…乳幼児期(0～5歳)、少年…少年期(6～15歳)、青年…青年期(16～29歳)、壮前…壮年前期(30～44歳)、壮後…壮年後期(45～64歳)、高齢…高齢期(65歳以上)

No.	ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性		
	妊婦	乳幼	少年	青年	壮前								壮後	高齢	指標(単位)	目標	実績	達成率(自動入力)	評価(a)(自動入力)		内容	評価(b)
7	1	1	1	1	1	1	適塩推進事業 (3)社会環境の整備	市民にとって身近な飲食店やスーパー等の環境を整備し、減塩に取り組みやすい仕組みを作る。 ①市役所食堂での適塩食の販売 ②スーパーにてレシピの配架	健康長寿部	健康づくり推進課	継続	継続	継続							新型コロナウイルス感染症の影響により整備できていないが引き続き働きかけていく。	2	スーパー等での取り組みの継続が難しい。双方にメリットがある方法を見つけ、今後の展開方法を検討する必要がある。
8				1	1	1	食中毒予防研修会	基本的な食品の取扱いや食中毒予防のための基本的知識を習得し、日頃から食中毒予防について実践できるよう、講義や講習を実施。(市職員を対象)	健康長寿部	健康づくり推進課	28人	28人	6月28日(水)8階大会議室にて実施予定							関係各課の参加がはかれるよう、周知を行い実施することができた。	3	日頃から食中毒予防について実践できるよう、また食中毒注意報が発令された際、迅速な対応ができるよう関係各課での周知が必要である。

食育関連事業一覧

教育委員会(11/13)

ライフステージ

妊娠…妊娠出産期（妊婦）、乳幼…乳幼児期（0～5歳）、少年…少年期（6～15歳）、青年…青年期（16～29歳）、壮前…壮前期（30～44歳）、壮後…壮後期（45～64歳）、高齢…高齢期（65歳以上）

No.	ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					課題・今後の方向性		
	妊婦	乳幼	少年	青年	壮前								壮後	高齢	指標(単位)	目標	実績		達成率(自動入力)	評価(a)(自動入力)
1			1				中学校昼食提供	教育委員会	学校管理課	全日授業日・昼食時間 【参加者数】 平均利用率 0.5%	全日授業日・昼食時間 【参加者数】 平均利用率 0.5%	全日授業日・昼食時間 【参加者数】 平均利用率 0.5%見込み						昼食の提供希望者に対して、昼食の提供をすることができた。	3	中学校給食の実施に向けて検討をすすめているが、給食開始までの間、昼食の提供を引き続き実施していく。
2			1				小学校給食行事献立	教育委員会	学校管理課	随時・給食時間 【参加者数】 9,090人	随時・給食時間 【参加者数】 8,857人	随時・給食時間 【参加者数】 8,562人						献立に行事食を取り入れることにより、食文化に関心をもたせたり、地元産物の使用により郷土への理解を深めるよう努めることができた。	3	課題はない。今後も行事献立を通じて、児童が食への興味、郷土への理解を深められるよう、継続的に実施していきたい。
3			1				小学校給食食育の日献立	教育委員会	学校管理課	随時・給食時間 【参加者数】 9,090人	随時・給食時間 【参加者数】 8,857人	随時・給食時間 【参加者数】 8,562人						月1回（毎月19日）を食育の日として特別献立を実施することができた。	3	課題は特になし。今後も継続して取り組みを実施し、児童の食育を推進していく。
4			1				宇治市学校給食研究会 夏季研究会	教育委員会	学校教育課	新型コロナウイルスの影響で中止	【参加者数】90名 【実施回数】1回 7月29日開催	【参加者数】100名 【実施回数】1回 7月26日開催予定						新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた対策を講じて実施することができた。	3	特になし。より実践的な内容にしていく方向である。
5			1				食に関する指導充実事業 (府教委指定)	教育委員会	学校教育課	南小倉小及び神明小が指定を受け研究を推進した。	三室戸小及び神明小が指定を受け研究を推進した。	北横島小及び三室戸小が指定を受け研究を推進する予定。						各校の新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた対策を講じて、府教委と連携し、研究を進めることができた。	3	特になし。今後も府教委と連携し、研究を継続させていく方向である。
6			1				食育に関する取組状況調査	教育委員会	学校教育課	府の事業や調査に協力し、食育に関する取組を推進した。	府の事業や調査に協力し、食育に関する取組を推進した。	府の事業や調査に協力し、食育に関する取組を推進する予定。						予定通り実施することができた。	3	特になし。
7			1				夏休み子ども★わくわくフェア	教育委員会	生涯学習課	事業は実施したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、調理実習の実施はなし	事業は実施したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、調理実習の実施はなし	調理実習のコーナーを出展してもらう予定						事業は実施したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、調理実習コーナーは当初から実施する予定はなかった。	1	小学生に料理する喜びを感じてもらう機会として、令和5年度は、調理実習のコーナーを出展してもらう予定である。

食育関連事業一覧

教育委員会(12/13)

ライフステージ

妊娠…妊娠出産期（妊婦）、乳幼…乳幼児期（0～5歳）、少年…少年期（6～15歳）、青年…青年期（16～29歳）、壮前…壮前期（30～44歳）、壮後…壮後期（45～64歳）、高齢…高齢期（65歳以上）

No.	ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性					
	妊娠	乳幼	少年	青年	壮前								壮後	高齢	指標(単位)	目標	実績	達成率(自動入力)	評価(a)(自動入力)		内容	評価(b)			
8			1	1	1	1	1	1	1	減塩味噌づくり講習会	市民団体が企画運営して、生活習慣病予防のため、作り方を学び、健康的な食生活を考え、有用な健康食作りを普及するために実施する。	教育委員会	生涯学習課 (宇治公民館) (小倉公民館)	(宇治公民館) 【実施回数】2回 【参加者数】①10人②10人 (小倉公民館) 【実施回数】2回 【参加者数】①10人②10人	(宇治公民館) 【実施回数】2回 【参加者数】①10人②10人 (小倉公民館) 【実施回数】2回 【参加者数】①10人②10人	(宇治公民館) 【実施予定回数】2回 【参加予定者数】①10人②10人 (小倉公民館) 【実施予定回数】2回 【参加予定者数】各回10人							大変好評で、受付初日で申込者数が募集人数に達した。	3	参加者にリピーターが多いため、初めて味噌づくりを学びたい人に受講いただく工夫や、募集人数を増やす検討を行う予定である。
9			1	1	1	1	1	1	1	トマトケチャップ作り講習会	市民団体が企画運営して、生活習慣病予防のため、作り方を学び、健康的な食生活を考え、有用な健康食作りを普及するために実施する。	教育委員会	生涯学習課 (宇治公民館)	【参加者数】20人	【参加者数】10人	【参加予定者数】10人							大変好評で、受付初日で申込者数が募集人数に達した。	3	募集人数を増やす検討を行う予定である。
10		1	1	1	1	1	1	1	1	子どもの居場所づくり支援事業	公民館サークルや地域の人々と連携して、さまざまな体験を通して、心豊かな人間性を育むとともに、世代間交流と地域との連携を図る。	教育委員会	生涯学習課 (小倉公民館)	「親子農業体験教室」 【実施回数】2回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施予定の3回中、1回中止 【参加者数】①37人②37人	「親子農業体験教室」 【実施回数】3回 【参加者数】①59人②60人③65人	「親子農業体験教室」 【実施予定回数】3回 【参加予定者数】各回18組							収穫物も豊作で大変好評であった。小学生や保護者にとって、世代間交流や地域との交流につながる体験となった。	3	畑管理にかかる負担が大きいですが、今後も地域と連携しながら事業を実施する予定である。
11			1	1	1	1	1	1	1	おぐらクッキングクラブ	小学生を対象に、自分で調理する喜びを感じ、ものづくりの大切さを体験するとともに、食育の観点から行事食についての理解を深める。	教育委員会	生涯学習課 (小倉公民館)	【実施回数】2回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施予定の5回中、3回中止 【参加者数】①12人②18人	【実施回数】5回 【参加者数】①18人②20人③16人④18人⑤19人	【実施予定回数】5回 【参加予定者数】各回20人							講師がよく考え試作した野菜のスイーツをつくり食べるという体験を通して、小学生に食の楽しさを提供できた。	3	年間5回土曜に開催しているが、小学生が属している学校の行事の影響を受けて不参加となることは課題である。
12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	茶香服大会	宇治名産のお茶に親しんでもらう伝統的な競技を体験できる機会として今後も実施していく。	教育委員会	生涯学習課 (小倉公民館)	新型コロナウイルスの影響で中止	新型コロナウイルスの影響で中止	実施予定							関係者との協議により、新型コロナウイルスの影響を鑑みて中止とした。	1	宇治名産のお茶に親しんでもらう伝統的な競技を体験できる機会として、令和5年度は、実施に向けて調整する予定である。
13			1	1	1	1	1	1	1	親と子のちよっとおしゃれな木幡倶楽部	市民団体が企画運営して、パン作りやお菓子作りをし、親世代が子世代に伝えるとともに、親子の交流を深める。	教育委員会	生涯学習課 (木幡公民館)	事業は実施したが、調理実習の実施はなし	事業は実施したが、調理実習の実施はなし	「パティシエから学ぶケーキづくり」事業を組み入れる予定							食にかかる講座ではなかったが、七宝焼き、フェルト小物入れ、クリスマスリースなどをつくる講座を通して、親子が交流を深められた。	1	「パティシエから学ぶケーキづくり」事業を本事業に組み入れて実施する予定である。
14			1	1	1	1	1	1	1	「作りませんか、手づくりみそ」塩分少なめのみそ作り実習	無添加・低塩分の味噌の作り方を学ぶ。	教育委員会	生涯学習課 (木幡公民館)	【実施回数】2回 【参加者数】①9人②9人	【実施回数】2回 【参加者数】①9人②9人	【実施予定回数】2回 【参加予定者数】各回10人							大変好評で、受付初日で申込者数が募集人数に達した。	3	参加者にリピーターが多いため、初めて味噌づくりを学びたい人に受講いただく工夫や、募集人数を増やす検討を行う予定である。

食育関連事業一覧

教育委員会(13/13)

ライフステージ

妊娠…妊娠出産期（妊婦）、乳幼…乳幼児期（0～5歳）、少年…少年期（6～15歳）、青年…青年期（16～29歳）、壮前…壮前期（30～44歳）、壮後…壮後期（45～64歳）、高齢…高齢期（65歳以上）

No.	ライフステージ					事業名	事業内容	担当部	担当課	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度事業予定	令和4年度数値評価					令和4年度記述評価		課題・今後の方向性	
	妊婦	乳幼	少年	青年	壮前								高齢	指標(単位)	目標	実績	達成率(自働入力)	評価(a)(自働入力)	内容		評価(b)
15			1				子ども茶道教室	教育委員会	生涯学習課 (広野公民館)	【実施回数】2回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施予定の8回中、6回中止 【参加者数】延べ11人(登録9人)	【実施回数】8回 【参加者数】延べ111人(登録14人)	【実施予定回数】8回 【参加予定者数】120人(登録15人)							参加した小学生は年間を通じて継続して学び、次年度も継続したいという意欲をもっている。応募者を増やすため、広報の工夫が必要である。	2	お菓子代の高騰により令和5年度から参加費を上げたが、今後も講師と協力しながら広報を工夫して事業を実施する予定である。
16	1	1	1	1			子どもの居場所づくり支援事業	教育委員会	生涯学習課 (木幡公民館)	「パティシエから学ぶケーキ作り」 【参加者数】10人	「パティシエから学ぶケーキ作り」 【参加者数】20人	「親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部」事業に組み入れる予定						親子が協力してパフェをつくり食べるという体験を通して、親子が交流を深められた。	3	「親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部」事業に組み入れて実施する予定である。	
17			1				料理教室	教育委員会	善法青少年センター	新型コロナウイルスの影響で中止	スイーツポットとサツマイモの皮チップス作り 【参加者数】20人	11月と1月に実施予定(計2回 各回20人程度)	教室の開催回数(回)	2	1	50%	2	うじ食育ボランティア「こんべいとう」に講師を依頼し実施した。包丁を使って食材のカットや皮むきをすることで使い方を学んだ。また食材を使い切ることで、フードロスについても学ぶことができた。	2	新型コロナウイルス感染症(以下「感染症」という)の影響で、計画どおり実施できなかったが、感染症が一定収束した状況においての開催手法等について検討を行い、実施していく。	
18			1				河原青少年センター活動事業(料理教室)	教育委員会	河原青少年センター	茶道体験用のお菓子作り1回 【参加者数】10人	茶道体験用のお菓子作り2回 【参加者数】延べ19人	料理教室の再開を検討中	参加者数	20	19	95%	2	参加者数を限定し、午前中に自分で作ったお菓子を午後のお茶教室で食べることにして感染予防とした。	3	新型コロナウイルス感染症が一定、収束した状況において、今後は従来のように子ども達が協力して作った料理をみんなで食べる機会を作っていきたい。	
19			1				父の日料理教室	教育委員会	大久保青少年センター	※新型コロナウイルスの影響により中止。	参加者数 9人	参加者数 10人	参加者数(人)	10	9	90%	3	新型コロナウィルス対策を行いながら実施した。パン作りを通じて青少年の食育にも資する事業となった。	3	今後も継続して取り組みを実施し、青少年の食育を推進していく。	